DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

体驗を反省して明日の教育實踐のあり方を求める。

2. 特定の雜誌を選び、その雜誌の研究方向や主張を、その雜誌に掲載されている諸記事を通して見出して行く。それも九月號十月號といつた風に限つた一冊を對象とする場合と、創刊號以來の雜誌を通して研究する場合が考えられる。

3. ある研究問題を設定して、それを全職員が手分けしてあらゆる雜誌を通して問題の究明に努める。

右のように色々雜誌を中心とする研究の方法はあると思う。又すでに雜誌登載の記事が研究會といわなくても、晝食後や作業の後のひと時に話題の中心になつていることと思う。これからは栗を圍み、柿を圍んではづむだらうし、蒸芋の溫いかをりをかぎながら談論風發といふ光景がみられると思う。又本當の教育や教育愛情の至情はこうした所から生れるのである。雜誌をかこむ會をそれぞれの學校に即してもつとも等く生かされたい。

教育雜誌の紹介

雜誌名	編集	發行所	摘要
心理	東大心理學室	日本科學社	いわゆる心理學專門の雜誌である。
兒童心理	東京文理大	金子書房	毎月特集をもつ手頃な教育心理教養の誌である。
新しい教育と文化	日教組	日教組本部	封建的なものに勇敢に批判を加えている綜合雜誌。
教育	宗像誠也	世界評論社	教育を政治や經濟の面から見ている、海外教育の紹介も可。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

文部時報　文部省調査局　帝國地方行政學會　調査局の機關紙、法令や告示の解説には絶好。

學校教育　廣島高師附小　寶文館　廣島高師附小教官の研究實踐の記錄書である。

學習研究　奈良女高師附小　奈良女高師附小教官の研究實踐の記錄書である。

教育研究　東京高師附小　相書店　東京高師附小教官の研究實踐の記錄書である。

教育技術　教育技術連盟、小學館　教育を技術の面より見ている各地の實驗報告は特色

教材研究　有明堂　執筆者が文部省や地方師範の教官が多い。

アメリカ教育　石山脩平　アメリカ教育協會事務局出版部　アメリカ教育紹介に力點がある。

學校と社會　東京文理大　金子書店　「學校自身が社會でなければならない」ここに立場がある。

教育科學　圖學社　教育の理論に走ることなくよく實際家の要求をみたす。

生活學校　巖松堂書店　社會科に關する指導性が濃い。

教育社會　西荻書店　特集問題をかかげ時事的教育問題の解明につとめている。

新しい教室、波多野精、中等教科書會社、隨想的に書かれた文學的であり、批判的態度がうれしい

P・T・A、日本兒童文化協會、泰文館、P・T・Aのあり方並びにその教育的識見の向上を顯う。

コトバ　興水實、石森延男　國語文化協會　現行國語教科書に深くくいいるものがある。

數理教育　廣島高師附小內　增田兄弟活版所　數學同好者の機關誌である、自由な發表が見ら

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

學校体育	東京高師体育教室	体育日本社
新体育	日本体育指導者連盟	目黒書店
教育音樂		音樂の友社
音樂界	日本音樂教育連盟	川田書房
音樂藝術	武川寛海	音樂之友社
合唱の友	小松耕輔	アポロ出版社
美術と工藝		寶雲社
五橋書道	岡崎雲山	五橋書道院
紫雲	藤田讃陽	紫雲書道會

學校体育のあり方を解說指導する。新しい体育の方向の指示と共にスポーツ記事が多い。

この方面の實際的第一者が執筆している。多彩な音樂雜誌である教養のための誌書だ。藝術的かをりの高い高級雜誌である。樂しみ深い音樂雜誌である、掲載樂譜も待たれる鑑賞画多く、美術界の各般に渡る論述も程度が高い。

學校向の鑑賞、手本が多く書道通信雜誌としてよい。

一般、中等、小學部からなる藝術性の高い通信書道雜誌。

學校圖書室の運營について（一單元）

問題選擇の趣旨 學習を兒童や生徒の自發的な活動を主体に、教師が助成の立場に立つとすると、兒童や生徒が學習せずにおれないような環境の構成が何より大切な仕事となる。そして一たん學

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

習意欲の誘發に成功すると、その意欲を滿足さすだけの施設が考えられなければならない。こうしたことは兒童や生徒を中心に教育を考える時には誠に平凡なことであるが、この事實を具体的な施設として考える時は實に數限りなくあげられて行く。新しい學校といはれる程の學校はすべてがこの線によつて統合されているのである。學校圖書室の運營はこうした新學校の一環の設營にすぎない。しかし最も重要な施設である。經費もかさみ、管理にも骨が折れて、見方によれば厄介なことなのだが、何としても學校としては持たねばならない施設である。それぞれの學校に即した本當の意味において子供や生徒の圖書室たり得るものの生れるよう研究の中心をむかれたい。

主なる協議の要點

一、學校圖書館の意義はどこにあるか。

1. 兒童は家庭で本を讀む場合と學校圖書館で本を讀む場合とどんなに違うか。
2. 民主々義教育と學校圖書館はどんな關係があるか。

二、兒童と讀書の關係について研究を進めよう。

1. 兒童の讀書の習慣は何才頃につくか。
2. 一番讀書欲の旺んな時は何才頃だらうか。
3. 兒童の精神發達に即した讀書の傾向はどんなに變化するか。
4. 兒童の讀書欲と學校の成績とに何か關係があるか。
5. 兒童はどんな本を好んで讀むか。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

6. 兒童は漫画を何故好むか。又好むにまかせて與えてよいか。
7. 兒童は一日に何時間程讀書するか。又何時間位の讀書が適當か。年令に應じて考えよう。

三、學校圖書館を經營するにはどんなことに注意しなければならないか

1. 施設について

イ、校舍のどこに位置すればよいか。(校舍の中心か端か、何階が適當か)

ロ、どんな部屋が適當か。(廣狹、明暗、天井の高さ……等)

ハ、机や椅子はどんなのがよいだらう。(その形、高さ、大きさ、配置はどうか)

ニ、どんな書架が適當か。(高さ、區切の長短、生徒達で工作出來るものか……)

2. 圖書の管理はどんなにすればよいか。

イ、生徒に自分達の圖書館だという自覺を抱かせるにはどうしたらよいか。

ロ、出來るだけ生徒の自治にまかせるとして、教師の役割はどんな所にあるか。

ハ、生徒の圖書委員は何名位が適當か。又どうして選ぶべきか。

ニ、圖書委員の仕事にはどんなことがあるか。購入・整理(原簿や分類台帳の記入・番號札の作製と貼付等・經理・圖書の修理・圖書館の裝飾・貸出し等の事務…)

ホ、出納式と開架式とどちらをとるか。(文部省は開架式を奬勵している)

ヘ、分類にはどんな方法が適當か。

十進分類・學年別分類・教科別分類・種類別分類

ト、貸出しを許すか、許すならばどんな準備と手續きが必要か。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

チ、圖書カードを作るとして左のいづれをとるか。
書名カード・人名カード・件名カード

3. 圖書を購入する時にどんな所に注意しなければならないか。

イ、圖書の購入にはどんな點に注意すればよいか
裝訂の良否、紙質の良否、著者、新刊か舊刊か、値段の高低
內容の良否（この判定は容易でない。しかし選定者が讀書家で圖書通であることが何よりだ）選擇委員會を構成する必要があるかどうか。

ロ、計畫的に購入しているか
圖書が童話とか少年小說とか文藝ものといつた風に一方に偏してはならない。同じ文科ものにしても、小說・隨筆・詩・劇文といつた風に廣くなり、全体としても、科學もの何パーセント、歷史もの何パーセント、といつた風に計畫的に購入して行くことが大切である。

4. 經費についてはどんなにすればよいか

イ、經費はどうして生み出すか。
各家庭から古本一冊宛寄附させる　　P・T・Aの會費から
毎月一人幾らかずつ徵收する　　篤志家の寄附による

ロ、經理にも生徒に參劃させるべきだらうか、そのよしあしについて。

四、讀書の指導について

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

1. 讀書態度の指導はどうすればよいか。
イ、圖書館でどんな躾けが必要か。（讀書前・讀書時・讀書後について）
ロ、一冊の本を出來るだけ讀み通す習慣を作る。
ハ、拾い讀みの惡いくせを止めさせたい。
2. 讀書內容についての指導はどんなに行うか
イ、讀後の感銘發表は口頭がよいか、記入がよいか、又どの程度にさせるのか。
ロ、教科と關聯して指導するのは望ましいが、その方法はどうか。
ハ、圖書館を利用して研究した生徒の結果は出來るだけ發表の機會を與える。
ニ、讀書錄を持たせて、讀書傾向を知り個別的に指導するような方法はどうだらう。
ホ、讀書指導のための圖書館專任の教師があればよいと考えられるがその實現はどうか。

五、其の他の問題について
1. 學校圖書館と學校文庫の長所短所を比較しよう。
2. 讀書會が有志で組織されないものか。
3. 圖書祭りを年一回開いてはどうか。その時にはどんな催しが考えられるか。

六、學校圖書館十則（兒童向きである）
1. 本を讀む前に手をきれいに洗いましょう。
2. 目あてをきめて本を選びましょう。
3. 感謝の心で本を大切に取扱いましょう。

DECLASSIFIED E.O. 12333 SECTION 3.402/NNDS NO.

4. 正しい姿勢で靜かに本をひもときましょう。
5. 一冊の本を始めから終りまで讀み通しましょう。
6. よく味わいよく考えながら讀みましょう。
7. 大切なこと、感じたことは書きとつておきましょう。
8. 讀んだ本はきちんともとの通りにしておきましょう。
9. 本を讀んでよいと思つたことは必ず實行にうつしましょう。
10. 本をよく讀んで世界の進歩に役立つ人になりましょう。

● 課外活動の指導について（一單元）

問題選擇の趣旨　課外活動の指導については、第二次の研究協議題の中にもとり入れておいた。そして研究と參考の中にも「課外活動による人格陶冶」という題目でこの問題の大變大切なことや人間性陶冶の主要な機會であることを述べた。

生徒や兒童の課外生活がアメリカで取りあげられるようになつたのは、生徒や兒童の出席をよくするためであつた。しかし生活に教育の基礎を持たねばならないという教育が叫ばれるようになつている現在では、課外という特別な生活が考えられなくなつて、兒童や生徒の生活それ自身が指導の對象として考えられるようになつた。したがつて課外活動の指導は教科の學習と同しように大切な教育の對象である。

日本でも課外の活動は大變重視して指導されて來た。殊に戰前行われていた課外指導は、生徒

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

や兒童の教養と趣味の育成が意圖されて實に旺んであつた。又その運營にいたつても生徒の自治的組織がとり入れられて、學校を學園というにふさわしい程青少年諸子の希望と意氣がもり擧げられていたように思う。しかしアメリカが今日課外指導にもつて、いるような新しい意味のものでなく、どこまでも課外指導であつたことはいうまでもない。終戰後この問題は社會的・物質的な色々の悪條件下にもかかわらず本格的にとりあげられて來た。この際教育の本質にかえつて、課外生活を教科課程の中にとり入れようとする全体教育の立場から根本的に打たてたく思う。それぞれの學校の現在の課外活動を中心にこの問題を深められたい。

主なる協議の要點

一、生徒、兒童の課外活動にどんな色々があるか。

1. 運動を中心とするもの　各種の運動　登山　水泳　乘馬……
2. 趣味を中心とするもの　音樂合唱團　園藝クラブ　寫眞同好會　繪の友……
3. 教科を中心とするもの　古典研究會　理科同志會　社會問題研究班……
4. 學校行事を中心とするもの　學藝會　音樂會　遠足　旅行　自治會　清潔作業
5. 其の他　少年團　少年赤十字　野營　市街巡察

二、課外活動の指導にはどんな點に注意すべきであるか。

1. 課外活動の指導にはどんな組織がよいだろう。
2. 正課の學習と課外學習との關連はどんなにあるべきか。
3. 課外活動は兒童や生徒の自主的な活動によつて行わるべきであるが、教師の助成はどの程度

DECLASSIFIED E.O. 12333 SECTION 3.402/NNDS NO. [illegible]

にあるべきだらうか。

4 課外活動中特に生徒や兒童のおち入り易い點はどこにあるか。

正課の學習がおろそかになる　同好の士は親しくなるが他面排他的となり易い

經費を多く費やし父兄の負擔がかさむ　疲勞におちいり易い……

一方に偏し易い

5. 課外活動によつて修得した學習を廣く公開する機會はどうしてつくるか

三、課外生活指導のためのカリキュラムを考えよう。

研究と參考

課外活動の指導

一、課外活動の意義

課外活動 Extra-curricular Activitiesという言葉は、傳續的な學校教科課程Regular-curricular Activities以外の學校活動に對する漠然たる名稱である。正規の教科課程と課外活動との間の區別は。常に漠然としておつて、明確な一線を引くことは困難である。以前の課外活動の多くは、現在正規の教科課程の一部となつているのである。例えば競技の如きは其の例である。又或る學校で課外活動として取扱われているものが、他の學校では、正規の教科課程として含まれているものもある。例へば手藝の如きはその例である。

課外活動は、正課の學業と密接に關係しなければならない。例えば學校新聞の刊行は、國語や

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

社會科の課程に繋がる。又選擇教科や自由研究は、課外活動と密接な關係を持つ。例えば自由研究の寫眞クラブと、校友會の寫眞同好會とは、全然同一であることも差支えない。課外活動という言葉は、何か教育的でない余計な活動の如き響を與えるというので、近頃のアメリカの教育書では、Extra-class Activities「教室外活動」或いは、Co-curricular Activities「協同課程活動」などゝ呼ばれるようになつて來た。

又地方に於て、カリキュラムの考え方が、「教科目カリキュラム」Subject Curriculum から、「核心カリキュラム」Core Curriculum 乃至「經驗カリキュラム」Experience Curriculum の考えに發展して來たので、課外活動と正規の教科課程とは、益々接近し。兩者を嚴密に區別することは困難且つ無意味となつて來た。學校で行われる凡ての活動は、カリキュラムとして編成されなければならないと考えられるようになつて來たが、然し乍ら、カリキュラムを如何に擴張しても、エキストラとして殘る部分はやはり存在し、又存在しなければならない。というわけは、凡ての活動を教科課程として編成し、教師が密接に關與し、指導するとすれば、生徒は恐らく他に自由な新生面を求めて移動するであらう。それが青少年の心理である。生徒の自由意志に依る活動を尊重し、課外的に取扱う領域は殘して置かねばならない。

二、課外活動の價値

課外活動が米國に於て行われるに至つた事情は、政策的なものであつて、米國に於ける學生々徒の出席狀態の良好でないのは、學校生活に何等か欠陷がある故であらうとして、之を研究した結果、英國のパブリック・スクールなどに於ける家庭的社交的な教育方法に暗示を得て、米國に

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

於ける學生々徒のこの惡風潮を救おうとして發案實施するようになつたのである。

我國に於ても生徒の出席率の惡い學校は、學校生活夫自身に何等か欠陷がないかを反省しなければならない。課外活動は、生徒を學校に牽きつけるだけの色々な教育的價値を網わさなければならない。

(イ) 課外活動は少くとも正規課業よりも生徒の興味を惹き、從つて自發的に活潑に活動せしめることが出來、他方正規課業にも興味を起さしめ、學校の印象をよくして出席を奬勵することができる。

(ロ) 個性に適する活動分野を選擇し、余暇を善用して高尚な趣味を養い、堪能な藝能を進め、明るい性格が建設できる。

(ハ) 集團の計画に參與し、其の生活中に社會的經驗を得、自治・協同・社會奉仕・、責任感・指導精神等社會生活上須要の習慣德性が養成される。

(ニ) 師弟の非形式的親睦理解の機會を與え、學校全体の統一を保ち、健全な學校精神を作る助けとなる。

(ホ) 實際の社會的活動に參加せしめることに依り、學校教育の象牙の塔を破ることができる。又父兄や一般人の、學校に對する興味や關心を惹起することができる。

三、課外活動の種類

課外活動を選擇する標準は、前述の價値を收めうるものでなければならぬ。それは生徒兒童に取つて望ましい活動であり、實行可能であり、又斯かる活動をなすことに依つて、他の有害不健

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

全な活動がおのずから、行われる余地がなくなるようなものでなければならぬ。

(イ) 正規の課業と密接な關係あるもの、‖學藝會・講演會・討論會・研究會・展覽會・圖書館・學校新聞雜誌の編集發行・修學旅行・見學等。

(ロ) 訓育に關係あるもの、‖自治會・學校學級委員會・校友會委員會・ホームルーム・校外自治會・少年少女團等。

(ハ) 健康增進に關係あるもの、‖各種の遊戯・運動・競技・運動會・登山・ハイキング・休暇聚落等。

(ニ) 友誼的なもの、‖クラス會・慰安娯樂會・觀劇・映画會・音樂會・各種クラブ等。

(ホ) 對外的なもの、‖P・T・A關係の催し・バザー・他校生徒との共同の諸會合・對抗試合・社會調査・社會奉仕・實習・アルバイト等。

四、課外活動の組織と運營

(イ) 出來るだけ生徒の自發的要求興味に依つて始められ、生徒自体の活動と自治に依つて運營せられねばならぬ。然し教育である限り、それは指導せられて、より高い價値を實現しなければならぬ。「民主的」「自治的」の名のもとに生徒の恣意に依つて運營され、物心の混亂に陷ることは、極力戒めなければならない。

(ロ) 課外活動は計画され編成されねばならぬ。

例えば校友會活動に於ても、月毎の週毎の或は毎日のスケヂュールが必要であらう。かゝるプランは、各學校の特殊性に適應したものでなければならぬ。又計画は漸進的に發達せしめ、變りつ

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NMDG NO. [illegible]

ゝある狀況に順應しなければならぬ。

(八) 新しい活動を始める時には、學校長又は教師の承認を受けねばならぬ。その活動を指導しうる教師がいなければ、かゝる活動は始むべきでない。新教師採用の場合には、かゝる能力も考慮せられねばならない。指導者は成るべく學校關係者であるを要する。

(ニ) 成る可く全部の生徒が、何かの活動に參加する事が望ましい。限られた生徒のみが、特權ある位置を獨占する事は許されない。選手萬能は批判されねばならぬ。一生徒の參加する活動の數は、學期又は學年を單位として二三に制限されねばならぬ。余りに多くの活動に參加して、負擔過重に陷るのはよくない。

(ホ) 出來るだけ多くの生徒が輕い負擔で參加できるように、會費は出來るだけ安くしなければならない。活動の都度杜撰な募金をする事はよろしくない。課外活動の會計は、學校で嚴密に監査しなければならぬ。將來は財源を教育委員會からの補助金に求める事が望ましい。

五、課外活動の評價

正規の教科課程は客觀的に評價されつゝあるが、課外活動の評價は主觀的の域を脱していない學籍簿や內申書に、「自治能力」「指導能力」「特異技能」などが記入されるようになつたが、將來は累積記錄の重要な內容をなし、進級卒業の判定にも考慮されるようになるであろう。

評價は、參加の範圍、參加の程度、參加者と非參加者との比較に依る活動の効果、指導者となつた生徒の能力發達の狀況、運動參加者と運動非參加者との學力の比較、体育活動による身体傷害等に亘つて客觀的繼續的になされ、記錄を取り、活動の方法運營等に反省改善が加えられねば

ならない。

特別な價値目的がどの程度に達せられたかに關する評價を忘れた課外活動は、教育的計画に基く生徒活動であるとは言えない。

六、課外活動の參考資料

他校の課外活動を參酌し、出來る限り多くの實際的資料を集めると共に、課外活動に關する參考文獻を渉獵しなければならない。

アメリカには課外活動に關する參考文獻は、六十冊以上もあるが、我國には未だ一冊も現われていない。之は我國に於て今迄如何に教育が、教室中心教科目中心に考えられていたかを示すものであつて、新しい活動中心生活中心の立場に立つならば、どうしても課外活動の重要性を認識し、之を學校計画の中に取入れなければならない。そして地域社會と生徒との特異性に立脚した各學校獨特のプログラムが樹てられなければならない。

アメリカの學校に於ける課外活動の概要と、參考文獻を知ろうと思えば、次のエンサイクロペディアを見ることを勧める。邦文の參考書は、課外活動に關して僅に數頁を費して、主としてアメリカの學校に於ける課外活動を紹介的に述べているに過ぎない。

參考文獻

1. W. S. Monroe; Encyclopedia of Educaitonal Research, 1941
2. H. N. Riulin: Encyclopedia of modern Education, 1943

ならない。

特別な價値目的がどの程度に達せられたかに關する需質を忘れた課外活動は、教育的計画に基づく生徒活動であるとは言えない。

六、課外活動の參考資料

課外活動の教育計画と改善に志ある教師は、先づ自校に於ける課外活動の現狀を詳細に調査し他校の課外活動を參觀し、出來る限り多くの實際的資料を集めると共に、課外活動に關する參考文献を渉獵しなければならない。

アメリカには課外活動に關する參考文献は、六十冊以上もあるが、我國には未だ一冊も現われていない。之は我國に於て今迄如何に教育が、教室中心教科目中心に考えられていたかを示すものであつて、新しい活動中心生活中心の立場に立つならば、どうしても課外活動の重要性を認識し、之を學校計画の中に取入れなければならない。そして地域社會と生徒との特異性に立脚した各學校獨特のプログラムが組でられなければならない。

アメリカの學校に於ける課外活動の概要と、參考文献を知ろうと思えば、次のエンサイクロペディアを見ることを勧める。邦文の參考書は、課外活動に關して僅に數頁を費して、主としてアメリカの學校に於ける課外活動を紹介的に述べているに過ぎない。

參考文献

1. W. S. Monroe; Encyclopedia of Educaitonal Research, 1941
2. H. N. Riulin: Encyclopedia of modern Education, 1943

DECLASSIFIED E.O. 12958 SECTION 3.4(b) NND 968127

DECLASSIFIED E.O. 12333 SECTION 3-402/NND 753041

3. 入澤宗壽「入澤教育辭典」　教育研究會　昭和 7年
4. 篠原助市「教育辭典」　寶文館　昭和10年
5. 「教育學辭典」第1卷　岩波書店　昭和11年
6. 赤井米吉「現代教育問題辭典」　七星閣　昭和23年
7. 阿部重孝「小さい教育學」　廣文堂　昭和 2年
8. 平澤　薰「アメリカの教育概觀」　尙學社　昭和23年
9. 豐澤　登「アメリカに於ける社會科教育の研究」　理想社　昭和23年
10. 教師養成研究會「指導」　師範教科書　昭和23年
11. 松原元一「新しい中學校」　文耀社　昭和23年
12. 文部省內中等教育研究會「新制中學教育ノート」　學校圖書　昭和23年

生徒兒童の自治會について　（二四元）

問題選擇の趣旨　生徒兒童の自治會の指導は、直接には生徒兒童に自分の生活を深く反省させる機會を與えることになり、生活に對する自主性自律性を喚起して生活の自覺をうながし、間接には政治的訓練を養つて公民的素地に培うことになるのだが、どうも我が國には樂しい自治會が發達しない。終戰後この問題は大きく取りあげられ、校內と校外の兩面から指導に着手されたのだが自治會は生徒自身の生活を規制する項目を列擧する會となり、時には半らな個人攻擊の機會になつて、樂しいどころか自からを苦しめるようなものになつた。民主的訓練を幼い時から受けて

3. 入澤宗壽「入澤教育辭典」	教育研究會	昭和 7年
4. 篠原助市「教育辭典」	寶 文 館	昭和10年
5. 「教育學辭典」第1卷	岩波書店	昭和11年
6. 赤井米吉「現代教育問題辭典」	七 星 閣	昭和23年
7. 阿部重孝「小さい教育學」	廣 文 堂	昭和 2年
8. 平澤 薰「アメリカの教育概觀」	尙 學 社	昭和23年
9. 豐澤 登「アメリカに於ける社會科教育の研究」	理 想 社	昭和23年
10. 教師養成研究會「指導」	師範教科書	昭和23年
11. 松原元一「新しい中學校」	文 耀 社	昭和23年
12. 文部省內中等教育研究會「新制中學教育ノート」	學校圖書	昭和23年

生徒兒童の自治會について（二學元）

問題選擇の趣旨 生徒兒童の自治會の指導は、直接には生徒兒童に自分の生活を深く反省させる機會を與えることになり、生活に對する自主性自律性を喚起して生活の自覺をうながし、間接には政治的訓練を養つて公民的素地に培うことになるのだが、どうも我が國には樂しい自治會が發達しない。終戰後この問題は大きく取りあげられ、校內と校外の兩面から指導に着手されたのだが自治會は生徒自身の生活を反側する項目を列擧する會となり、時には幸らつな個人攻擊の機會になつて、樂しいどころか自からを苦しめるようなものになつた。民主的訓練を幼い時から受けて

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NMD3 NARS

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

いないことにも原因するのだろうが、指導する立場にある教育關係者も深く反省したいと思う。

自治會は會を運營する役員の選出から、生徒の自治會らしい明朗さがなければならないと共に話題に青少年らしい希望と意氣と何とも叱りようのないあとけさがなければならないと思う。生徒や兒童の自治會を白紙にかえして再出發したい。

主なる協議の要點

一、學校の自治會の實態はどんなであらうか。

1. 自分の學校の自治會の活動の實際を反省してみよう。
2. 自分達はこの學校の自治會をどんなに指導して來たか反省しよう。
3. 現在のあり方でよいだらうか。長所短所を正直に認めよう。

二、自治會は何故に必要か。

1. 自治會の意義を改めて考えよう
   新しい教育の立場から　新しい學校の機能の立場から
2. 自治會によつて生徒や兒童は何を修得するのか。
3. 生徒の自治會と課外活動との關係について考えよう。

三、自治會を指導して行く上の實際的な問題にどんなものがあるか。

1. 生徒自治會の組織と運營はどんなにあるべきか。
   機構　規約　役員の選擧　內部の組織　活動の範圍　會計
2. 自治會における生徒相互の戒めはどんなにあるべきか。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

3. 自治會における教師の指導の領域について考えてみよう。
4. 自治會を新しく作るにはどんな手順が必要か。
5. 自治會の評價はどんなにして行われるべきか。

四、自治會の發展過程を研究してみよう。

1. 我が國の學校自治會はどんなに發展して來たか。特に校友會と關聯して研究しよう。
2. アメリカにおける自治會の發展を研究しよう。

研究と參考

自治會の一般的組織体系

1. 各學級單位とする自治會の上に學年を單位とする自治會が一般に考えられる。
2. 各學年の代表は自治委員會を構成し、自治會關係の一切の會議を指導し統裁する。
3. 自治委員會に教師の顧問と特定の問題を研究する指名委員會を設けるのが好ましい。
4. 自治委員會には學級及學年代表は參加出來るようにする。
5. 自治委員會の指導のもとに全校自治會が運營される。

自治會規約の一般的形式

第一條　名　稱
第二條　目　的
第三條　會　員（全生徒）
第四條　自治委員會

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

1. 各學年から代表者を選出して、自治委員會を構成する。
2. 委員會は會合を開く。
3. 委員會は全校生徒の選擧を管理する。
   (1) 指名委員會を構成し、各役員について二名以上の候補者を指名する。
   (2) 選擧は全校生徒の會合で無記名投票で行われる。
4. 委員會の仕事について
   (1) 委員會の議長は國會の議事方法で委員會の會合を統轄する。
   (2) 委員會の書記はあらゆる會合の記錄をとる。
   (3) 委員會は次のような問題を討議し實行する。
   生徒の服裝　風紀　運動競技の計畫　會合……など
5. 教師のあり方について
   (1) 教師は一人以上顧問として選ばれ、委員會のすべての會合に出席する。
   (2) 學校經營に關係ある問題は、學校長及教職員は協力して處置して行く。
6. 委員會は特定の活動については專門委員會を構成する。

第五條　規約は全校生徒の多數の投票によつて承認される。

第六條　規約は全校生徒の例會において三分の二以上の投票によつて變更することが出來る。
規約の決定及びすべての變更は、學校長及教職員會によつて承認されなければならない。
全校生徒の總會は少くとも一學期に一回以上必要に應じ開催される。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

第七條　會費（生徒の總會によつて決定）

第八條　役員　全校自治會には會長、副會長、書記、會計に關する役員を選擧する。

役員の任期は一學期又は一ケ年とする。

全校自治會の役員は委員會に出席できる。

第九條　各學級は議長及代表者二名以上を選出する。

同一學年、全學級の代表者は委員會の會員となる。

第十條　他の必要事項

兒童生徒の自治活動と訓育について

（一）かつての教育の性格を單的に表現しているのは訓育に關する面である。今日その訓育が嚴正なる批判の座に置かれている。それは兒童、生徒の生長に基かずに既存の社會秩序を上から傳達する爲のものであつたからである。個人的であるよりも非個人的であり具体化するよりも標準化することを目途としていた。

デューイは教育の多樣な機能の中で最も本質的なものとして指導（Guidauce）統御（Control）指示（Direction）をあげている、ガイダンスは兒童生徒の先天的可能性の自發的な固定性を助長することであり、コントロールは兒童生徒の必要や能力や興味などに一致しないところがあつても一定の標準によつて外からの力を以て統制してゆくことであり、ディレクションは丁度兩者の中間の概念である。即ち兒童生徒の活動傾向が散亂しないように或る一定の連續した過程を保つて導か

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

れゆく機能である。この解釋によれば過去の訓育なるものゝ教育的機能は常にコントロールとして生徒に臨む傾向が强かつた。そして遂に躾け教育とか或は錬成といふ言葉まで使用しなければ氣がすまなかつた。然るに自然に伸びる力は人力を以てはどうすることも出來ぬものがある。即ち兒童生徒の活動性はこのコントロールに對して極めて自然な反應を示し、これを强制する時は境遇に對して二種の應答を示した。生徒としての面と人間としての面である。一は假面であり一は正体である。生徒の惡は此處に芽生え學校から逃れ、教師は敬遠すべき冷淡な存在と思われた。かくの如き結果は事志と違つたかも知れないがともかくかつての訓育が嚴しく批判さるゝ所以である。

(二) 教育は兒童生徒の自發性を尊重しなければならぬ。新しい教育はこれを確認して出發したが、尊重するあまり兒童生徒の座長に對して教育的な手を加えることを差控える傾向にあり、逸脱するところ放任の形に陷つている觀すらある。放任は教育の否定であり、如何なる申開きがあつてもナンセンスである。人間に於ける自然性の自由な發展を說いたルソーはエミールの教育に周到な指導計畫を持つていたし、スタンツに於けるペスタロッチの努力もあげて指導の實踐にあつた。生長は常に助力を必要とする。適切な助力なくしては滿足にして健全な生長は不可能であるし人格性は異常なものとなる。そこで訓育 (Discipline) はこのガイダンスの理念の上に立つて今一度反省せらるゝことが必要である。子弟は何等かの方法で Training されなくてはならないからである。

(三) 自治活動は何よりも兒童生徒の活動性と自發性とが重んぜられねばならない。それで活動性に自發性の發露するところ多樣にして多種なる自治活動が展開する。これは學校に於ける生活のみならず近隣關係、交友關係その他地域社會關係の生活經驗を通して展開する。然るに活動性が活潑で

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

あり、自發性が旺盛であればそれだけ、その助力が必要でガイダンスが欠くべからざるものとなる助力と援助とは兒童生徒の自治活動の展開するところ何れの社會領域卽ち家庭や教會や寺院や各種團体などによつて與えられねばならぬのであるが事實に於ては學校が中心の責任を負わなくてはならぬようになつている。家庭は無力であるし一般社會も亦その力を忘れているからである。

(四) 此の助力と援助のため學校は大きな組織を持たねばなるまい。担當者や職分もまた決定されねばならぬ。校長、學科擔任教官、學校担任教官等、或は委員會もまた必要である。こゝでは一つの參考としてホーム・ルーム (Home-room) を紹介しておく。

米國の學校、特に Secondary school には生徒の指導のためホーム・ルームが設けられているのが普通である。これは學校の規模が大きくなりその機構が多くの部門に分れてきたこと、學科内容が專門的に分化してくることから生徒一人々々について注意し援助する責任を持つ教師がなくなつてくる。このやうな狀況にあつては教師と生徒とは日々接しても學科を通して或は教室だけでというように狹い面からのみ接觸しているのに過ぎなくて、生徒は自分の必要を滿足し相談する相手を持たない。それで生徒に關するすべてに配慮し研究して、彼等を學校生活々動に適應させるために、常時責任を負う人を準備する必要がある。そのためにホーム・ルームを設けその担任の教官 (Home-room Teacher or Sponsor) をおくことになつている。その目的は (イ) 生徒と教師との關係を望ましく發展させること (ロ) 指導に於ける助力の主役をつとめること (ハ) 生徒に望ましい理想や習慣や人格、社會性を發達させること (ニ) 日常習慣の監督を教育的に促進することに關きる、ホーム・ルームの組織はいろ〳〵のやり方があるが担任教師は一定期間或は一年だけ一グ

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

ループを受持つ場合、入學から卒業まで持上る場合があり、そのグループも同じクラスから成立つ場合、同學年の場合或はすべての學年から適當な數を選ぶ場合等がある。米國に於ける中等以上の學級は日本のようではなくてあくまで授業のための組織であり或る場合は能力別或は專門別に別けられているので同一入學年度の者を一つのグループにまとめるといふ區分をやつていない。日本の學級のように同年次の生徒を幾つかの群にわけて一室におき、そこで授業もすれば訓育もし指導もするといふのは至極稀である。

ホーム・ルームはグループの數によつて幾室も設けられる。生徒は常時こゝに自分の机を持ち書籍をおいて担任教師に會い個人的に或ばグループとして注意や訓話をうけ出席がとられ時には聖書の講義もあつて後各クラスの授業を受けに行く、そして課業のない時にはこゝで生活するので學校に於ける「我が家」といつた感じを理想としている。ホーム・ルーム担任は生徒の母であり父であつて生徒個々の生活に關するすべてを知ること、彼等の性格を研究し彼等の一般的監督をなす義務を負う人である。彼は生徒の學校生活への適應や賢い學生々活態度の育成を始め他の多樣な適應や態度の育成をなすのがその責任となつている。彼は他の職員の誰よりも分担の生徒についてよく知る機會があり生徒の個人及びグループを通じての助力をなし得る。例えば學校生活への不適應、教師に對する反感、學科の失敗、家庭の貧困などの原因を知ることが出來るし、彼等のかくれた關心、大望を洞察し指導することが出來る。又かくすることによつて他の學科担任教官に非常な助けを與えることが出來る仕組である。

(五) 日本では舊制高等專門學校以上では生徒課や學生課があつて生徒主事學生主事が監督指導にあ

DECLASSIFIED E.O. 12333 SECTION 3.402/NNDS NO. [illegible]

たつた、又各教授が學級主任とは違つて幾人かの生徒を入學から卒業まで分担指導したことは、學校が單に教授の場としてのみ考えられず教育の場として斯くの如き組織が特設されたことは一つの進歩であつた。併し動機は所謂思想善導であつたので、新しい見地に立つてガイダンスの爲の組織が考えられて然るべきである。

學校と社會の關係について（一單元）

問題選擇の趣旨 從來とも學校と社會が離れていたわけではない。およそ優秀な學校として指を折られる程の學校は、兒童や生徒の保護者はいうまでもなく、男女青年團、婦人會等とも密接な關係を持つて、全村的な經營がなされていた。しかし地域社會學校の考え方や學校の民主化が叫ばれるようになつて、學校と社會との關係が根本的に再檢討されるようになつた。

學校の經營が學校を設立している地域の人々と教師との共同の經營でなければならない。と主張される「先生と父兄の會」のあり方をはじめとして、學校は地域社會の文化の中心であり、指導の場でなければならないとする考え方は、鄉土の文化施設や娯樂機關や風致や風紀上の問題から、男女青年や婦人會、母親學級等に對しても學校は新しい役割を持たなければならない。ここにこの問題を選擇した所以がある。すでにそれぞれの學校では、具体的な問題を持つておられることと思うが、靜かに新しい教育のあり方を反省して根本的な所から本質的に芳しい方向にすすめられたい。

主なる協議の要點

DECLASSIFIED E.O. 12958 SECTION 3.402/NNDS NO. [illegible]

一、「先生と父兄の會」はどんなに育つているか。

1. 發會の日から今日までの發展過程を反省してみよう。
2. 學校經營の中にどんなに父兄の方々が參加していられるか、又參加されて來たか。
3. 現在の運營の實際を會の機構や人的な方面から檢討してみよう。

二、學校は地域社會のためにどんな役割をはたしているか。

1. 地域社會の人々の健全なる娯樂のために學校はどんな仕事をしているか。
2. 地域社會の產業開發のために學校がはたすべき領域は無いか。あるとすればどの點か。
3. 地域社會の醇風良習の保持助長のために學校はどんなことをしているか。

三、學校が既に關係してゐる事、又關係しなければならない事柄について檢討しよう。

1. 母親教室　ペスタロッチのゲルトルートやないけれども母親教室は何としても育てたい。
2. 女子青年團　嫁入前の準備的な意味からでなくもつと高い所に指導を見出したい。
3. 男子青年團　青年は精力の余剩になやまされているのだ、正しく直い方向へ指導したい。
4. 婦人會　婦人の自主性がのぞまれている。解放が與えられたものでないようにありたい。
5. 成人教育　古い習慣と傳統の保持者である。思い切つた民主化の指導がのぞまれる。
6. 敬老會　どこの地方でも行はれている。

四、學校の開放はどの程度までしなければならないのだらう。

1. 運動場・運動施設　一寸の空間でも球のころがつているのが現狀である。運動場が利用されるのは無理もない。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

2. 講堂　大勢の集會の場所として講堂は何處より重寶な場所である。

3. 圖書室　完備されたものはないにしても人々の文化的教養のためにしたい。

4. 作法室・裁縫室　婦人會や女子青年團員の修養の場所となつたり、手藝や料理の講習場として活用されているだらう。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

あとがき

問題は軍政部のフイリツプ氏を中心に、兵教組と師範學校の先生方に參加していただき二回にわたり協議をかさねたものである。

文部省の師範科から出している「指導」といふ師範教科書が、内容から見ても、現在の學校教育における必要性から見ても適切であると思つたので「指導」を中心として、研究をすすめてはと思い、その手配も進めていたのだが問題をひろつてやることにした。

各問毎に問題を選擇した趣旨と主なる協議の要點をかかげた。研究と參考それに參考資料もそれぞれつけたかつたのだが十分まとめ得なかつた。

問題に組織がないとか系統がないとか思われるかも知れないが、現實性と實踐性は十二分にもられている問題ばかりだと思つている。現職にある者が職場で僅かな時間を見出して、共に研さんを重ねようという研究會としては、こうした行き方であるべきだと思う。この意味で雜誌を中心に話し合う研究などこれを機會に常例化してもらいたいものだと願う。

はじめのことばを書く時にも秋の好季が惜しまれてならなかつたのだが、窓の外に夕陽の迫るのも忘れて話すそのことの中に深い深い秋を偲びたい。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

昭和二十二年十二月

兵庫縣學務課

新教育研究協議の手引

學習指導要領（一般編）

新教育指針

目次

はじめのことば……一
新教育研究協議会質疑要領……二
序論について……五
教育の一般目標について……七
児童の生活について……九
教科課程について……一一
學習指導法の一般について……一七
學習結果の考査について……二五

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDS NO.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

はじめのことば

一　この小冊子は、兵庫縣における新教育研究協議のための手引として刊行されたものである。編しゆうが相憎増俸事務の多忙な時に、しかも早急を要したので、何もかも不十分で申わけなく思つている。

二　新教育に對する教職員關係者の熱意は、最近にいたり特に高潮し、各地で旺んに研究會がもよおされていることは喜びに絶えない。このたび兵庫軍政部からの指示もあつて、あらたに新教育研究協議會を開催することとなつたが、この點については十分了承されたい。

三　「新教育研究協議の手引」は、「學習指導要領一般編」を根幹とし、「新教育指針」並びに戰後文部當局から出された教科書や指導書の精神を生かそうと願つて、研究協議題例や研究、參考等を考慮した。限られた紙面で十分でないが意圖する所を汲みとられて、それぞれ學校の事情に即した研究法に工夫されたい。

四　新教育の根基に培う研修は、常に平凡にして健實な日々の學習指導生活の現實からなされなければならない。高遠な理論もこのことを忘れては觀念の遊戯に終ることが多い。本研究協議はこの點に特に留意している考えであるが、さらに研究と協議に創意と工夫を重ねられて新教育が一日も早くあるべき相に打立てられんことを願つてやまない。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

新教育研究協議會實施要領

一 期　日　昭和二十二年十二月十五日より昭和二十三年三月十五日まで

二 研究の範圍　幼稚園、小學校、中學校、中等學校、高等・專門學校、各種學校公私立の全職員

三 構　成　各學校單位として全職員にて構成

（學校職員少數の場合は隣近校は合同して研究してもよい）

四 研究時間　三〇時間（一單位時間を一時間（六十分）とし、毎週月水金の三回行うこと）

五 研究協議の進め方の要領

1. 全員の自由にして潑らつたる研究を基盤とする討議がのぞましい。
2. 議題は全員が事前に協議決定し、十分研究のできるようにつとめる。
3. 司會者は輪番制とし、互に交替してその責にあたる。
4. 討議を活ばつならしめるため、問題によつては一教員の提案を中心として進めるのもよい。又一教員の實地授業を中心として研究するのもよい。
5. 研究は放課後に行い正規の授業にさしつかえないようにする。（研究のための授業は正規の授業をもつて代用させない）
6. 校長・首席教員は必ず出席する。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

7. 研究の成果は即刻實際に移し、その結果を次回に發表するようにつとめる。

六 研究の手引

1. 必携書　新教育研究協議の手引、學習指導要領一般編、新教育指針
2. 整備書　教育に關する諸法規、學習指導要領各科編、新教科書、教育心理

十 研究と學校の運營

1. 研究を學校運營の中にとりいれ最も具體的な研究協議の實施案を作つて行う。
2. 研究を次の諸點に生かし新教育の實効を擧げるようにつとめる。
   地域社會の實態の調査、環境の教育的設營、各科の新しい學習形態の確立、兒童の生活實態の客觀的把握
3. 研究協議の記錄は整備して、學校經營の基礎資料として活用する。

八 實施細案

序論	一二・二二（月）	從來の教育の反省	
	一二・二四（水）	新教育の性格	
教育の一般目標	一・九（金）	一般目標の吟味	
	一・一二（月）	一般目標の具體化	
兒童の生活	一・一四（水）	身體的方面	
	一・一六（金）	同　右	
	一・一九（月）	精神的方面	
	一・二一（水）	同　右	
教科過程			

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

一・二三（金）	教科過程の構成	
一・二六（月）	地域社會の研究	
一・二八（水）	教科過程實施上の諸問題	
一・三〇（金）	同　右	
二・二（月）	教科過程の科學的研究	
二・四（水）	同　右	
二・六（金）	學習指導法の一般	
二・九（月）	學習指導の新形態について	
二・一〇（水）	同　右	
二・一三（金）	指導案の立て方	
	實際に立案	
二・一六（月）	實地授業	
二・一八（水）	授業について	
二・二〇（金）	指導法の原理	
二・二三（月）	指導の段階	
二・二五（水）	環境の教育的設營	
二・二七（金）	同　右	
學習結果る考査		
三・二（月）	考査方法の研究	
三・四（水）	考査要素の研究	
三・六（金）	考査の實際	
三・九（月）	考査の處理	
三・一一（水）	平素の考査	
三・一三（金）	學籍簿の研究	

（註）1. 學校行事の計畫は本實施細案を先づ考えること。
2. 研究の時間は午後三時から四時までとする。

DECLASSIFIED E.O. 12958 SECTION 3.402/NND NO.

序論について（二單位）

序論

一　なぜこの書はつくられたか。

新しい兒童の要求と社會の要求とに應じて生まれた教料過程をどんなに生かして行くかを教師自身が自分で研究して行く手引としてつくられた。

二　どんな研究の問題があるか。

1. 一般社會、地域社會の特性と要求とを知る
2. 兒童の現實生活を知る
3. 適切な指導法の工夫をする
4. 確實な基礎を持つた科學的な考え方

三　この書の内容

1. 教育の一般目標

【研究協議題例】

一　マッカーサー司令部から發せられた教育關係の指令を研究し、從來の日本教育のあり方を反省しよう。

二　新教育の努力點を從來の教育と次の點について比較研究しよう。

1. 教育の目的について
2. 教材の選び方について
3. 學習指導の方法について
4. 兒童生徒の訓育の仕方について

三　新しい教育を考える時の基盤となる要件は何であろうか。

四　授業に成功した時の體驗を思い出して成功の原因をたずね互いに話し合おう。

1. 兒童の現實生活に基礎をおいていたか

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/MNDS NO.

2. 兒童の生活
3. 教科課程
4. 學習指導法の一般
5. 學習結果の考査

（關　連）

新教育指針（第一部前べん）
日本の現狀と國民の反省
軍國主義及び極端な國家主義の除去
新教育指針附錄（第五分冊の全部）

---

2. 指導の過程が兒童の氣持にあつていたか
3. 指導の內容が兒童の心意發達にあつていたか

（研　究）

各教科毎に教科書編さんの變遷を研究しよう、

（參　考）

學習活動から見た世界に於ける新教育の傾向（ヘファナン女史）

1. 教科過程中心の學校から兒童中心の學校へ
2. 兒童中心の學校から地域社會中心の學校へ

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

教育の一般目標について

（二單位）

第一章　教育の一般目標

教育の根本目的は教育基本法に示されているが、學習指導の立場から具體的に國民教育の一般目標を考える必要がある。

一　個人生活について
道德、科學、國語、宗教、文學・藝術、勤勞、健康

二　家庭生活について
倫理的秩序、家庭生活の民主化、科學的合理的に考えて能率化する

三　社會生活について
人權の尊重、社會生活の理解、共同禮儀、社會正義、政治の本義、傳統遵法、文化の理解

四　經濟生活について

【研究協議題例】

一　學校のある地域社會の生活の實情を檢討して、教育の一般目標をさらに具體的に考えてみよう。
1. 個人生活　2. 家庭生活
3. 社會生活　4. 經濟生活及び職業生活

二　學校の教育目標を具體的な兒童の生活並びに校下の實情から考察して、最も具體的に擧げてみよう。

三　學級經營の目標を立てるには、どんな點を考慮しなければならないだろうか。
學級經營の目標を具體に擧げてみよう。

（研　究）
人間性の發見を文化史の立場から研究してみよう。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

「註」特にルネッサンス以後についてはその研究を深めよう。

(關連)

教育心理　上　(三六頁—三九頁)

公民科教師圖書　(六頁)

日本國憲法

教育基本法　第一條

學校教育法　第十七條、第十八條、第三十五條、第三十六條、第四十一條、第四十二條。第五十二條、第七十一條、第七十七條、第七十八條

經濟知識と經濟生活えの良心、科學の應用、職業の自覺と理解、職業的知識と能率增進、消費生活に對する工夫と創造

(關連)　新教育指針

人間性・人格・個性の尊重　(二二頁)

個性尊重の教育　(六一頁)

女子教育の向上　(七三頁)

公民教育の振興　(六七頁)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

兒童の生活について

（四單位）

第二章　兒童の生活

身體的方面を主として（二單位）

一　なぜ兒童の生活を知らなくてはならないか。

教育の出發點は次の二點にある。

1. 兒童の現實の生活
2. 伸びて行く兒童自體

二　年齢による兒童生活の發達

（一）第一、二學年兒童（六―八歲）
（二）第三、四學年兒童（八―一〇歲）
（三）第五、六學年兒童（一〇―一二歲）
（四）第七、八、九學年生徒（一二―一五歲）
（五）第十、十一、十二學年生徒（一五―一八歲）

（觀察の要點）

【研究協議題例】

一　それぞれ學校の兒童・生徒の體位の實態について檢討してみよう。

二　體位を中心に考えてみて、學校の特質はどこにあるだらうか。

各學年毎に體位の特質をとらえそれを教育の實際に生かすようにしよう。

三　次の諸點について學年的特徴を具體發に把握しよう。

運動能力、作業の傾向、遊びの傾向

精神的方面を主として（二單位）

一　次の兒童・生徒の精神發達を具體的に知る

DECLASSIFIED E.O. 12958 SECTION 3.402/NNDS NO.

身體的
1. 肉體の成長　2. 內臟の發達
3. 運動性　4. 死亡率

精神的
1. 考え方　2. 理解の仕方
3. 生活の仕方　4. 情緒の傾向
5. 興味の變化　6. 想像の働き
7. 交友の關係　8. 遊び方の傾向
9. 模倣と創造　10. 競爭心の發達
11. 勤勞意欲　12. 性意識の發達

にはどんな方法があるか。又發達を段階的に考察してみよう。

思考力、理解力、想像力、情緒性、創造性、性意識、興味の傾向

二　兒童・生徒の生活態度について考察しよう。

三　給食の實施が兒童の體位にどんなに影響しているか。

（研　究）

兒童の生活實態を常に觀察調査して記入出來る適當な「個性觀察簿」を考察しよう。

（關　連）

教育心理　上（六六―一三六頁）
同　下（一九八―二五四頁）
學習指導要領社會科編(1)（六―七頁）

DECLASSIFIED E.O. 12333 SECTION 3.402/NNDS NO.

教科課程について

（六單位）

教科課程の研究目途について

（四單位）

教科課程は「教育の目標を達成するために學校において、生徒の望ましい發達のために準備するあらゆる生活經驗の全體」をさすものと理解されるようになつた。したがつて兒童の生活と地域社會の實態の上にそれぞれの學校において立案されなければならない。それがため本章の研究は次の點を目途として進められたい。

1. 學校の特性を十分生かすようにする
2. 指導細目の作製につとめる

第三章　教科課程

一　教科課程はどうしてきめるか。

○教科とは教育內容を性質により分類したもの

○教科過程とは教科と教科內容とを學年的に系統づけ配當したもの

○教科過程の定め方は、その地域の社會生活に即して教育目標を吟味し、兒童青年の生活を考えて　ろ。

二　小學校の教科課程と時間數

（一）ここで見られる教科で、これまでと違つている點について

（二）社會科の設けられたわけ

社會生活についての良識と性格の育成

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

(三) 家庭科の設けられたわけ

(四) 自由研究の設けられたわけ

○兒童の個性により學習の内容並びにその方向に差異がある

○一定の時間内ではその活動の要求に滿足を與え得ない者ができる

○學年の區別を去つて同好者の研究を促す

(五)(六)(七) 總時間數とその生かし方

○年計畫をたて教材の教育的價値を判定し必要な時間を豫定する

○季節を生かす

○學校行事との關係を考える

○地域社會の要求を考える

○兒童の作業力を考える

(八) 週學習の立案について

○學校行事を考える

○學校作業を考える

○特別教室の使用を考える

新教科課程の構成を中心に

(二單位)

【研究協議題例】

一 教科課程は何によつて定めなければならないか。

二 地域社會の要求は何によつて判定さるだらう。

三 地域社會の實態を調査しよう。

(參考)

地域社會學校(コンミュニティースクール)實施の基礎調査事項(ヘフアナン女史)

1. 生活費の根源は如何なる職業から來ているか
2. 行政府の組織並びにそのあり方
3. 商業・工業・金融のありさま
4. 娯樂施設はどのようであるか
5. 歴史的背景について

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

○運動場の使用を考える

(九)(一〇) 低學年における時間の生かし方

○兒童の學習に對する興味を考える

○兒童の學習持續力を考える

(一一) 一日の時間の生かし方

○相談し合う時間を考える

○理解のための時間を考える

○熟練のための時間

○情操をたためる時間

○表現のための時間

○自由の時間

○休みの時間

三 新制中學校の教科と時間數

(一) 職業科を特設した

(二) 社會科、自由研究を設けた

(三) 教科を必修科目と選擇科目にわける

○生徒の希望をいれる

○地域社會の事情を考える

6. 文化施設並びに文化人について

7. 自然の環境について（山・川・港・海岸…）

8. 植物・動物の實態について

9. 住宅・生活の樣式について

10. 人々の健康・思想・言語について

四 地域社會や兒童生活から取材した題材を中心に學習の內容と程度について具體的に話し合おう。

五 地域社會の行事中その導入に考慮を要すべきものについて考えよう。

「要注意」 マッカーサー司令部より發せられた教育關係の司令參照。

六 兒童の生活の實態を次の諸點にわたつて調査し、學習題材を選擇しよう。

學校生活、鄕土生活、家庭生活、學校行事、讀書生活

七 學校の諸行事を新しい立場から檢討し、望

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

○學校の設備を考える

(四) 規準時間數の生かし方

四 高等學校の教科と時間數（昭和二十二年四月七日發學一五六號による）

（關 連）

新教材指針 第二部第二章

一 時事問題……一一六頁

二 學校生活に關する問題……一一九頁

新教科書の全教材

學習指導要領各科の全學習單元

（研 究）

地域社會の意味について考察しよう。

（參 考）

地域社會の內的要素について

1. 人々の寄り集りである
2. 人々が統一を感じている
3. 仲間としての活動を行つている
4. 相互に連絡の出來る所に住んでいる

しい形態のもとにその精神を生かすようにしよう。

教科課程實施上の問題を中心に（二單位）

【研究協議題例】

一 新しく設けられた教科に對する父兄達の意見なり所感はどのようであるか、互いに話し合おう。

二 社會科・家庭科・自由研究が新しく設けられるにいたつた理由を教授思潮の立場から研究してみよう。

三 職業科はどの科目を選ぶべきだらうか。立場を明らかにして選定しよう。

四 選擇科目についても、地域社會の事情、學校の設備、生徒の希望にもとづいて選定しよう。

五 地域社會や兒童の生活から教材が得られる

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

5. 共通の傳統を持つている
6. 共通の事業所を持つている

と、教材から展開される學習内容を考察し、程度にしたがつて學年に配當し、さらに一年間の見とうしを立てよう。

六　兒童・生徒の自發學習を最も旺盛ならしめるためには、時間割の立て方にどんな工夫が必要だらうか。又一週間が最も有効に生かされているかあらためて考察してみよう。

七　一日の時間の生かし方について、季節を考察して具體的なものを立てよう。（現在實行されているものについて反省しよう）

教科課程選擇えの過程　（二單位）

教科課程は地域社會の實情と兒童の生活を基盤としてそれぞれの學校で定めなければならないものであるが、それえの過程として次の研究と努力が大切である。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

【研究協議題例】

一　各教科毎に教材の一覽表をつくり次の點について研究しよう。

1. 取材の領域を研究し系統化してみよう
2. 教材が内にもつている陶冶價値を反省し、學年の知識並びに學習活動力の程度について研究しよう。

二　各科を關連的に研究し學年の特質を把握しよう。

三　教科書の教材を學習させる時に特に次の點に注意して兒童・生徒の活動を活潑ならしめよう。

1. 教材を生活體驗の中に見出す
2. 教材を生活することによつて理解する
3. 教材を鄉土化して考察する
4. 教材を鄉土の事實にしたがつて追求する

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

學習指導法の一般について　（十單位）

第四章　學習指導法の一般

新しい學習指導の形態について　（二單位）

一　學習指導は何を目ざすか。

1.　學習指導の目標は何か

イ　知識技能をわからせる

ロ　生活を營む力を與える

2.　學習指導の基盤は何か

イ　學ぶのは兒童である

ロ　學びの道すじに從う

3.　學習の進め方

イ　兒童自身が計畫をたて

ロ　兒童自身の力で進め

ハ　兒童自身が結果を反省する

二　學習指導法を考えるにどんな問題があるか。

【研究協議題例】

一　新しい學習指導法はどんな性格を持つべきだらうか。次の點から考えてみよう。

1.　指導の目標をどこにおくか

文化財か？　文化活動か？

2.　學習の主體はどこにあるか

3.　教師の位置はどんなになければならないか

二　學習活動が兒童の内なるものとなつて、眞にその目的を達している時は、次のものの關係はどんなにあるだらうか。

1.　兒童と學習計畫

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

1. 學習の目的を知り、學習に對して進んで行おうとする意欲のこと
2. 學習の計畫を立てる基礎となる兒童や青年の經驗や知識のこと
3. 兒童青年の思考活動の本性のこと
4. 學習を身につけるための練習のこと

(一) 學習の目的と意欲

學習意欲をひき起には

1. 活動の興味を生かす
   構成的遊びや組み立遊びの善導
2. 生活の必要感を起す
3. 成功の歡喜を與える
   ○能力に應じた指導
   ○能力に應じた教材
   ○能力に應じた程度

(關 連)

教育心理 下 興味の發達 二五〇頁

(二) 兒童青年の經驗と知識

2. 兒童の生活經驗と教材
3. 兒童の心意の發達と教材

三 平素の指導經驗を話し合おう。

1. どんな所に工夫を拂つているか
2. 兒童や生徒が學習の中心となつて活動しているだらうか
3. 新しい學習形態を形づくりつつあるか
4. 自分の努力に自信を持つているか

(研 究)

教授方法の變遷を研究してみよう

學習指導の立て方について

(三單位)

【研究協議題例】

一 學習指導案にはどれだけの要件が具備されなければならないか。

二 特定の教材をとらえ。さらに學年を限定して次の點を五に研究しよう。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

1. 生活經驗に注意する
2. すでに持つている知識に注意する

(三) 兒童青年の思考の性質

理解の過程

考へ↓試み↓達す(知識に、考へ方に、技術に)

1. 一・二年の兒童の思考
   - イ 行つてみて知る
   - ロ 興味にしたがつて行動する
   - ハ 身のまわりと融け合つて一つとなる
2. 三・四の兒童の思考
   - イ 簡單な論理のすじをとつて考える
   - ロ 行動によつて知る
   - ハ 興味にしたがつて行動する
3. 五年以上の兒童生徒の思考
   - イ 論理的に考える
   - ロ 興味が知的となる
   - ハ 單なる知的な活動が生れる

三

1. 教材に關連して兒童・生徒のもつている知識と經驗の內容について(教材と生活との關聯)
2. 教材を中心に學習の展開される範圍について
3. 教材と兒童・生徒が直接に接觸して行く面について
4. 教材を對象とした時の兒童・生徒の興味の內容とその持續の程度について

三 それぞれ獨自の立場から學習指導案を立て互いにその苦心點を話し合おう、特に次の點については兒童・生徒をどんなにみているか。

1. 自發的な學習意欲と獨自に學習をすすめて行く力について
2. 該教科に對する能力について
3. 授業の進め方と兒童・生徒の活動過程との關係をどうみているかについて
4. 教師が助成する所、補導する所、指導す

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

（關連）

教育心理　下　考え方の發達　二三八頁

（四）練　習

1. 練習の種類

イ　くり返し練習

ロ　應用練習（適用）

2. くり返し練習法の要點

イ　短時間の利用

ロ　長期に渡つて行う

ハ　興味を與える

3. 應用的練習法の要點

イ　少しづつ長期に渡つて行う

ロ　複雜な活動に工夫を加へて行う

（劇化、討議法……等）

三　具體的な指導法はどうして組み立てるべきか。

1. 方向をもつた自發活動へ導く

2. 活動を兒童の發達にしたがつて取り扱う

る所、教える所をそれぞれはつきり考えているか。

四　學習指導の方法に色々工夫を重ねることは兒童や生徒の理解や了解をたすけるためのことが多いが、さらに反覆練習の機會と方法について考えよう。

實地授業を中心に　（二單單）

【研究協議題例】

一　もつとも民主的な方法によつて授業者を選び、實地授業を中心に研究を進めよう。

二　授業者は第二回の研究を基礎として出來るだけ具體的な指導案を作製しよう。

三　授業者は特に次の點について意圖するところを示し、話し合いの資料とするようにしたい。

1. 教材に對する意圖について

2. 兒童に對する意圖について

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDS NO.

3. 活動を學習の進行と共に變化して取り扱う
4. 兒童を絶えず觀察し、その狀態を確かめて行く

(一) 兒童や青年の自發活動を考える
1. 身體的な活動
2. 好奇心を滿足させる活動
3. 社會的な活動
4. ものをもてあそんだり組て立てたりする活動
5. 劇的な遊びの活動
6. 表現の活動
7. 物を集める活動

(二) 教具・設備・施設について
1. 環境の教育的な設營は自發活動の根源である
2. 直接的な環境の重なるもの
教師、設備、施設、教具

3. 研究授業までに取り扱つて來た大要について
4. 事後の取り扱い方について

四 授業參觀後は次の點について話し合おう。
1. 授業時間中における兒童・生徒の活動狀況
2. 授業の發展段階
3. 指導者の意圖と兒童・生徒の興味
4. 興味の性格と教材

(研究)
一 學習指導の段階はどんなに色々と變つて來たかについて研究しよう。
二 次のような學習指導上の思潮について研究してみよう。
ドルトン案、ウインネトカ案、マンハイム組織、プエブロー案、ゲーリリ組織、動的分團學習、學習法、全人教育、自動教育、創造教育……等

DECLASSIFIED E.O. 12333 SECTION 3.402/NNDS NO. [illegible]

3. 環境設營のよりどころ
イ 運動的な活動促進のための設營
ロ 好奇心を滿足させるための設營
ハ 社會的活動のための設營
ニ ものをもてあそんだり組み立てたりする活動のための設營
ホ 劇的な活動のための設營
ヘ 表現活動のための設營
ト 物を集めるための設營

(三) 兒童の發達を考える

(四) 學習の進行にそうこと

1. 第一の段階
イ 問題の發見
ロ 學習意欲の喚起
ハ 經驗・知識の整理

2. 第二の段階
イ 計畫を立てる
ロ 活動をはじめる

學習指導法考案の基盤について (二單位)

二二

【研究協議題例】

一 兒童や生徒に自發的に學習させるためにどんな工夫をしているか、具體的にその體驗を話し合おう。

二 兒童や生徒が喜んで活動する場合はどんな時だらうか、又學年別に差異があるならばその特徴の發見につとめよう。

三 學習の進行過程はどんなにあるべきだらうか、色々の立場から研究を進めよう。
1. 問題を中心とする學習
2. 作業を中心とする學習
3. 觀察・實驗を中心とする學習
4. 鑑賞を中心とする學習

四 個人學習の進め方について特に大切な點はどこだらうか。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

ハ 訂正する
3. 第三の段階
イ 練習する
ロ 應用する
（關 連）
新教育指針 討議法について 一二八頁
（五） 學習の目的を考えること
主なる學習の目的
1. 問題の解決を意圖する學習
2. 記憶しようとする學習
3. 觀察實驗によつて得る學習
4. 技術を得る學習
5. 鑑賞力を養う學習
6. 態度を養う學習
（關 連）
新教育指針 第二部第二・三章
三 參考資料……一二〇頁
（五） 環境の整備充實……一二六頁

五 共同學習（分團學習）の進め方について特に大切な點はどこだらうか。

六 全體學習の進め方について特に大切な點はどこにあるだらうか。

環境の教育的設營について

（二單位）

【研究協議題例】

一 環境設營の目的はどこにあるか。

二 兒童や生徒の心意の發達の程度によつて、學習の内容となし得る環境の範圍に廣狹がないだらうか、あるとするとその範圍を學年的に考へてみよう。

三 校外に安全して適當な學習の場所が見出せる時は「野外教室」として選定し、その場において學習の出來る内容を學年に配當して活用するようにつとめよう。

四 學校の内外はどんなに整備すればよいだら

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

教育心理　下
四　學習とは何か　三〇七頁
五　教科の心理　三八七頁

うか、設營の細案を立て年次計畫のもとに充實を圖らう。

五　教室の設營はどんなにすればよいだらう。

六　ぜひ必要な特別教室は何教室だらうか。それぞれの特別教室についてその設營を考えよう。

七　教育の轉換は教具についても新しいものを要求している。新教育實踐上ぜひ必要な教具について考えてみよう

八　現在學校にある備品や教具は出來るだけ活用しよう。

（研　究）

特殊兒童の指導は如何にあるべきだらうか。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

學習結果の考査について

（六單位）

考査要素と考査方法の問題を中心に（二單位）

第五章　學習結果の考査

一　なぜ學習結果の考査が必要か。
　1. 教師の立場から
　2. 兒童生徒の立場から
二　如何にして考査するか。
　1. 學習の結果を正しくわかるよう
　2. 學習目標を明らかに出來るよう
　3. 考査の方法
　　イ　綜合的方法、分析的方法
　　ロ　標準化された方法、標準化されない方法
（一）知識と考え方の考査
　1. 總合的な考査法
　　A　その種類

【研究協議題例】
一　學習結果の考査の必要を次の二つの立場から考察してみよう。
　1. 教師の立場から
　2. 兒童の立場から
二　考査の方法を色々の立場から考えてみよう。
三　各教科毎に教科の性格から考えて考査すべき要素を見出してみよう。

（參　考）
社會生活に關して　石山崎平
理解　一　必要な知識を修得したか（知識）

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

二 よく考えて理解する力があるか（思考）

三 觀察・記錄・統計圖表などによつて研究する力があるか（研究能力）

態度 一 つねに關心を抱き興味を持つているか（關心）

二 望しいことと望しからぬことを區別し批判することができるか（評價）

能力 一 大切な習慣を身につけているか（習慣）

二 生活の合理的處理ができるか（處理）

三 仲間と協力する力があるか（奉仕・協調・社交・協力）

四 自分の責任を重じ完遂するか（責任）

五 仲間を指揮統率する力があるか（統率）

（兒童心理十月號より）

四 參考には社會科における測定の內容を擧げ

---

(1) 平ぜいの學習狀態を觀察する
(2) 學習帳を調べる
(3) 全體的問題による報告・論文
(4) 全體的問題による口答・筆答

B その長所と短所

長所 (1) 知識と考え方の綜合把握
(2) 知識を全體として把握

短所 (1) 結果を適確につかめない
(2) 主觀的になりやすい

C 正しく用いる方法

(1) 判定の客觀化につとめる
(2) 內容の要點をはつきりさせる
(3) 分析的方法を併用する、

2. 分析的な考査法

A 知識を調べる方法

(1) 再生法
(2) 選擇法
(3) 眞僞法

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

(4) 組み合わせ法
(5) 記録法
(6) 圖解法

B 考え方の理解を調べる方法
(1) 完成法
(2) 訂正法
(3) 作文法
(4) 排列法
(5) 判定法

(二) 技能についての考査法
1. 一對比較法
2. 記述尺度法

(三) 熟練の度の考査
1. 一定時間内の作業の量による方法
2. 一定作業の完成に要した時間による方法
3. 記述尺度を加へて行う方法

(四) 態度の考査
1. 一對比較法

てみたが、それぞれの要素について適當な考査方法を考えてみよう。

考査の實施と結果の處理について（二單位）

【研究協議題例】

一 各科にわたり考査要素が檢討され、考査方法が見出されると、單元學習後の考査について具體的な問題を考えてみよう。

二 次の要領で實際に考査を行つて行かう。
1. 考査要素の單純なものから複雜なものへ
2. 考査方法の單純なものから複雜なものへ
3. 考査の結果が客觀性の高いものから主觀性の高いものへ

三 考査の結果の處理力法について考えてみよう。

四 考査の結果を出來るだけ客觀化する方法を考えよう。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

五　考査の結果にしたがつて學習の實際にどんな反省と工夫が大切であるかを具體的な事實の上に立つて互に話し合おう。

平素考査簿と學籍等について（二單位）

【研究協議題例】

一　以上のように考察してくると、兒童や生徒の平素の學習狀態を考査するにも、考査の結果の記錄方法にも、又父兄への傳達についても新しい立場が考えられるのではなからうか、もしその必要があるならばそれぞれの學校で獨自のものを工夫してみよう。

二　學籍簿の樣式や記入方法についても、現在文部當局の方で色々研究されている向であるが、望しい學籍簿についての意見の交換を行おう。

（附）
2. 記述尺度法
1. 鑑賞力の考査
（五）
2. 並立比較法
1. 順位評價法
2. 豫備調査及び知能檢査

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

昭和二十三年十月二十一日（木）より十月二十三日（土）まで三日間

會場　明石市　教育研究所講堂

第一回新教育研究協議會要項

——學校學級經營——

Containing a list of try-out schools in Hyogo Pref.

主催　兵庫縣立教育研究所

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

本校のとりつゝある過程は

序

兵庫縣立教育研究所長事務取扱　堀　隆　三

我が兵庫縣立教育研究所に於いては、學校學級經營の研究の爲に、各郡市に一校づつ實驗學校をもつ事になつた。この實驗學校は、夫々各校の獨自の經營方針の下に、進歩的に新教育を實施されつゝあるので、研究所としては、その經營上のいろ〳〵な研究問題を、各校の實際に即して拾い、これを研究調査して、その學校の經營に寄與すると共に、同時に、縣下各學校の問題として、これを新教育振興に資したいというのが、その計畫である。

今回學校學級經營の問題を中心に、研究協議會を開き、實驗學校の經營責任者及研究者の參集を願ひ、各校經營の實情を聞くと共に、研究協議して、これからについて何らかの解決点を見出したいと思う次第である。幸各位の協力を得て、所期の目的を達成せられんことを望む次第である。

（昭和二三、一〇、一〇）

昭和二十三年度學校學級經營實驗學校一覽

（○印は地區當番校）　兵庫縣立教育研究所

Osaka-Kobe → Kobe

地區	郡市	學校名	學校長	研究主任	研究題目	地區共同研究題目
神戸	神戸市	○葺合中學校	田中文三	藤田喜六	民主的教育の理論と實際、コミュニティスクールの理念と實際	生徒の分團學習について
	明石市	大藏中學校	加納弘	甲谷俊男	學級經營と學業成績との相關關係の測定	
阪神	西宮市	安井小學校	中上利一	宮部芳雄	兒童の自發性にたつ學級經營	
	尼崎市	塚口小學校	鳥田覺次	中山美雄	科學性に立脚せる美的情操陶冶を重視せる學校學級經營	
	芦屋市	芦屋小學校	魚谷賀三	西垣貞雄	教育評價について	
	伊丹市	伊丹小學校	前田道利	上田四郎	カリキュラムの編成と學習への展開	
武庫郡	川邊郡	○魚崎小學校	將積茂二	藤本浩吉	協同社會理念に基づく學校學級經管	
		川西小學校	當深伍	黒川茂雄		

序

兵庫縣立教育研究所長事務取扱　堀　隆　三

我が兵庫縣立教育研究所に於いては、學校學級經營の研究の爲に、各郡市に一校づつ實驗學校をもつ事になつた。この實驗學校は、夫々各校の獨自の經營方針の下に、進歩的に新教育を實施されつゝあるので、研究所としては、その經營上のいろ／＼な研究問題を、各校の實際に即して拾い、これを研究調査して、その學校の經營に寄與すると共に、同時に、縣下各學校の問題として、これを新教育振興に資したいというのが、その計畫である。

今回學校學級經營の問題を中心に、研究協議會を開き、實驗學校の經營責任者及研究者の參集を願ひ、各校經營の實情を聞くと共に、研究協議して、これからについて何らかの解決点を見出したいと思う次第である。幸各位の協力を得て、所期の目的を達成せられんことを望む次第である。

（昭和二三、一〇、一〇）

昭和二十三年度學校學級經營實驗學校一覽

（○印は地區當番校）　兵庫縣立教育研究所

地區	郡市	學校名	學校長	研究主任	研究題目	地區共同研究題目
神戸	Kobe 神戸市	○灘合同中學校	田中文三	藤田喜六	民主的教育の理論と實際、コミュニテースクールの理念	生徒の分團學習
神戸	武庫郡	○大藏中學校	加納弘	甲谷俊男	實際知能檢査の測定と學業成績との相關關係の測定	
阪神	西宮市	西宮市立小學校	中上利一	宮部芳雄	兒童の自發性にたつ學級經營	
阪神	尼崎市	尼崎市立小學校	藤田覺次	魚谷賀三	科學性に立脚せる實的情操陶冶を重視せる學校學級經營	
阪神	伊丹市	伊丹市立小學校	中山美雄	西垣貞雄	社會科（Social Studies）	
阪神	武庫郡	魚崎小學校	將積憲深	前田道利	教育評價について（Evaluation of education）	
阪神	武庫郡	甲陽小學校	茂二伍	上田四郎	カリキュラムの編成と學習への展開（organizing curriculum and developing units）	
川邊郡	川西	川西小學校	藤本浩吉	黒川茂雄	協同社會理念に基づく學校學級經營（School and class administration and management based on ideology of cooperative society）	

Osaka-Kobe

Kobe

Tryout Schools

Region	District	School	Principal	Researcher	Research topic	Region theme
東播 (Eastern Harima)	明石郡 (Akashi gun)	錦浦小學校 (Nishikiura Sho)	橋本貞次	森田岩次	自發學習態度の養成 (Cultivation of spontaneous study)	社會科の教育を中心とする學校經營
	美嚢郡 (Mino gun)	中吉川小學校 (Nakayoshikawa Sho)	山本房吉	岸中哲夫	自發學習態度の養成 (" ")	
	加古郡 (Kako gun)	加古川小學校 (Kakogawa Sho)	大富一五郎	船橋弘	地域社會學校の經營 (Management of Community School)	
	印南郡 (Inami gun)	米田小學校 (Yoneda Sho)	高橋虎夫	田中長藏	社會科教育 (Social Studies Education)	
	多可郡 (Taka gun)	中町第二小學校 (Nakamachi Daini Sho)	橋本榮次	笹倉貞治	社會科 (Social studies)	
	加東郡 (Kato gun)	福田小學校 (Fukuda Sho)	小林延次	井上貢	單元學習による學習形態の諸問題 (Various problems of methods of studies according to unit study)	
	加西郡 (Kasai gun)	在田小學校 ?	深山市次郎	高見基	社會科を主流とする國語科の研究 (Study of subject of Japanese with social studies as its center)	
中播 (Central Harima)	姬路市 (Himeji City)	○[illegible]部小學校 (Yobe Sho)	熊見幾二	古寺瀧男	鄉土社會學校の在り方 (Way for community school)	地區社會學校
	神崎郡 (Kanzaki gun)	長谷小學校 (Hase Sho)	內藤育三	坂本惠嚴	鄉土社會學校としての學校 (Community school with the whole village as its keynote)	
	飾磨郡 (Shikama gun)	余部小學校 (Yobe Sho)	馬場重一	玉越一郎	余部村を基調とする教育	
西播 (West Harima)	揖保郡 (Ibo gun)	正條中學校 (Seijo Chu)	富岡規矩也	首藤正雄	學校圖書館の經營、生徒の自學態度の養成 (Management of school library + cultivation of spontaneous study in children)	自學態度の養成 圖書室の經營
	佐用郡 (Sayo gun)	久崎中學校 (Kusaki)	福山孝	高見正	同右 (ditto)	
	赤穗郡 (Ako gun)	高田中學校 (Takada)	橫山確	矢田正	生徒の研究態度を如何に確立すべきか (How to establish spontaneous attitude in students' studies)	
	相生市 (Aioi City)	相生中學校 (Aioi)	藤田哲二	中谷博	職業指導 (Vocational guidance)	
	宍粟郡 (Shiso gun)	安富中學校 (Yasutomi Chu)	藤岡鶴市	山本忠雄	生徒の學習實力向上の實踐的研究 (Practical study in elevation of students' study and ability)	
但馬 (Tajima)	城崎郡 (Kinosaki gun)	香住小學校 (Kasumi Sho)	田中繁	岡田軍二	社會科教育の研究、兒童訓育の問題 (Research of social studies + bringing up of children)	社會科を中心とする學校經營
	美方郡 (Mikata gun)	[illegible]小學校 (Ikumi Sho)	平田亮吉	寺口勝次	? 廣領域教科課程と學習指導の在り方 (Curriculum for wide-ranged subject & its teaching)	
	出石郡 (Izushi gun)	福住小學校 (Fukusumi Sho)	千野正一	西坂進	社會科指導を中心とする學校經營 (School management with social study as its center)	
	養父郡 (Yabu gun)	伊佐小學校 (Isa Sho)	中島喜一	原甚吾	社會科の研究 (Research of Social studies)	
	朝來郡 (Asako gun)	○竹田小學校 (Takeda Sho)	西村英一	太田正一	社會科を中心とする學校經營 (School management with social study as its center)	
丹有 (Tamba-Arima)	多紀郡 (Taki gun)	城南中學校 (Jonan Chu)	中代正夫	佐古田武	? ペスタロッチ教育を基盤とする學校經營 (School management based on Pestalozzi education)	學校自治會の運營
	氷上郡 (Hikami gun)	竹山中學校 (Takeyama Chu)	吉田勝次	依田則夫	課外に於ける生活指導 (Guidance for extra curricular life (activity)) ?	
	有馬郡 (Arima gun)	長坂中學校 (Nagasaka Chu)	今垣一夫	今西清俊	生徒の自發的自主的活動を基調とする生活指導 (Guidance based on students' spontaneous & independent activities)	
淡路 (Awaji)	洲本市 (Sumoto City)	○洲本第一小學校 (Sumoto Dai ichi Sho)	西岡駒平	十河輝夫	社會科作業單元の構成とその展開 (organizing units for social studies & its development)	作業單元の構成と學習指導法
	津名郡 (Tsuna gun)	中田小學校 (Nakada Sho)	堀田悅郎	梶原和正	民主的な學校學級經營 (Democratic school and class management)	
	三原郡 (Mihara gun)	倭文小學校 (Shidori)	奧野秋雄	岡田久男	學習指導法 (Study Guidance)	

DECLASSIFIED E.O. 12355 SECTION 3-402/NND 763

Trip point Schools

Awaji Jambo-Tajima

Western Harima → Central Harima → Eastern Harima

Akashi gun Mino	明石郡 美嚢	Nishikinsa Sho	西錦小學校	深小橋	自發學習態度の養成 (Cultivation of spontaneous study)
Kako gun Yawata	加古郡 八幡	Nakamachi Sho	中町小學校	山本	社會科教育の經營 (Management of Community School)
Kato gun Kasai	加東郡 河合	Fukuda Sho	福田小學校	高橋	地域社會科教育 (Social Studies Education)
Himeji City	姫路市	Yoshi Sho	吉川小學校	高富	社會科 (Social studies)
Kanzaki gun	神崎郡	Hase Sho	長小學校	夫	單元學習による學習形態の諸問題 (Various problems of methods of studies according to unit study)
Shikama gun	飾磨郡	Yoshi Sho	吉川小學校	延	社會科を主流とする國語科の研究 (Study of subject of Japanese with social studies as its center)
Ho gun	揖保郡	Seiji Chu	西二中學校	馬内	地域社會學校の在り方 way for community school
Sayo gun	佐用郡	Kusaki Chu	久崎中學校	玉坂	郷土社會科と之れとする教育 School education with community school
Ako	赤穂	Takata	高田	越本	赤穂郡の學校 Ako Village as its keynote
Aio City	相生市	Aio	相生	一	學校圖書館の經營 Management of school library
Shiso gun	宍粟郡	Yosutomi	安富	恵	右 (ditto)
Kinosaki gun	城崎郡	Kasumi Sho	中學校	蓬	生徒の自學態度の養成 (Cultivation of spontaneous study in children)
Mikata	美方	Tajima	但馬	横	同學校の研究態度を如何に確立すべきか (How to establish spontaneous attitude in students' studies)
Inuchi gun	養父郡	Yoshida	吉田	岡	生徒の學習指導 (Vocational guidance)
Yabu	藪	Kinosaki	城崎	田	生徒の學習實力向上の實踐的研究 (Practical study in promotion of students' study and ability)
Asaka gun	朝來郡	Takeda	武田	山	社會科教育の研究 (Study Research of social studies)
Tatsuno	龍野	Tatsuno Sho	龍野小學校	中	兒童訓育の問題 (Curriculum for bringing up of children)
Tatsuno gun	龍野郡	Takeda	武田	本	廣領域教科課程と學習指導の在り方 (School management with social studies as its center)
Tatsuno gun	龍野郡	Tatsuno Sho	龍野小學校	西	社會科の研究 (Research of social studies)
Tatsuno gun	龍野郡	Tatsuno Sho	龍野小學校	村	社會科を中心とする學校經營 (School management of with social studies as its center)
Tatsuno gun	龍野郡	Tatsuno Sho	龍野小學校	木	ペスタロッチ教育を基礎とする學校經營 School management based on Pestalozzi education
Hikami gun	揖保郡	Takayama Chu	高山中學校	今	課外に於ける生活指導 Guidance for extra curricular life (activity)
Arima gun	有馬郡	Nagisaka Chu	長坂中學校	今	生徒の自發的自主的活動を基調とする生活指導 (Guidance based on pupils' spontaneous & independent activities)
Sumoto City	洲本市	Sumoto Dai ichi Sho	洲本第一小學校	十	社會科作業單元の構成とその展開 (organizing units for social studies & its development)
Tsuna gun	津名郡	Nakada	中田	岡	學習指導法 (Study Guidance)
Mihara gun	三原郡	Shidoji	志智	田	民主的な學校學級經營 (Democratic school and class management)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

研究發表順序

小學校の部

第一日（二十一日）

○學級經營の問題（九、二〇—一〇、三〇）

自發性に立つ學級經營
自發的學習態度の養成
自發學習態度の養成
學習指導法

○學校經營の問題（一〇、四〇—一二、〇〇）

民主的な學校學級の建設
協同社會教育理念に基づく學校學級經營
我が校の歩み方

○社會科の教育（一、〇〇—三、〇〇）

社會科の教育
本校社會科經營五ケ年計畫
社會科學習の實踐
社會科教育の基礎的研究
社會科作業單元の構成

○社會科を中心とする學校經營（三、〇〇—四、三〇）

社會科を中心とする學校經營
社會科を中心とする學校經營
社會科を中心とする學校經營
鄉土社會學校の在り方

西宮市安井小學校
明石郡錦浦小學校
美囊郡中吉川小學校
三原郡倭文小學校
津名郡中田小學校
川邊郡川西小學校
加西郡在田小學校
印南郡米田小學校
多可郡中町第二小學校
芦屋市岩園小學校
城崎郡香住小學校
洲本市第一小學校
養父郡伊佐小學校
出石郡福住小學校
朝來郡竹田小學校
姫路市余部小學校

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

第二日（二十二日）

○カリキュラムの構成（九、〇〇—一〇、三〇）

カリキュラム編成と學習への展開　武庫郡魚崎小學校
廣領域教科課程の構成と學習指導の在り方　美方郡居組小學校
單元學習による學習形態の諸問題　加東郡福田小學校
生活カリキュラムの構成　加古郡加古川小學校

○學校經營の問題（一〇、四〇—一二、〇〇）

余部村を基調とする教育　飾磨郡余部小學校
科學性に立脚せる美的情操陶冶を重視する學校學級經營　尼崎市塚口小學校
轉入兒童及村外出兒童とその影響　神崎郡長谷小學校
教育評價について　伊丹市伊丹小學校

第三日（二十三日）

○學習態度の問題（九、三〇—一〇、三〇）

自學態度の養成と圖書館　揖保郡正條中學校
學校圖書館と自學態度の養成　宍粟郡安富中學校
自學へのつたなき營　佐用郡久崎中學校
研究態度を如何にして確立すべきか　赤穗郡高田中學校

○生活指導の問題（一〇、四〇—一二、〇〇）

課外に於ける生活指導　相生市相生中學校
訓育をかく考う　氷上郡竹山中學校
ペスタロッチー教育を基調とする學校經營　有馬郡長坂中學校
本校教育の概要　多紀郡城南中學校
智能檢査の測定と學業成績の相關係數　神戸市葺合中學校
明石市大藏中學校

中學校の部

DECLASSIFIED E.O. 12333 SECTION 3.4(b) NND 963

第一日　小學校之部

學級經營の問題

自發性にたつ學級經營

西宮市　安井小學校

兒童は身體素質知能を運命の所與として生きつゞける。現實は餘りにも悲慘である。だが廢墟の中で兒童は天眞清冽に成長し發展する。愛着の故に此岸に立つ我らの悲願は、曰く、「自らの力の限りを盡くして他の眞の幸福と向上のために獻げ、これを自らの衷心の悅びとしよう」

學級は生活社會であり生活によつて生活は成る。兒童は言語に生活に習慣に人間的運命の連帶の自覺として個性化せられ社會化される。世界現實、文化、人間主體の社會範圍に我らは理想的人間像を求めつゝ之を若き世代に力强く印象ずけなければならぬ。

社會建設の人間教育を志向して單なる「文化の傳達」「個體人間の完成」「社會性の陶冶」に偏ることなく、文化、人間、現實を統一する體系的教育理想を探求する。

人間の構造を精神を宿した身體的生命と見て、その生命環境、情意環境、知性環境に對する人間の働きかけは技能、態度、理解となり、茲に教科目が位地する。學校生活では健と美と倫理と眞理をより以上の成長に誘わねばならぬ。かくて工作的人間と自己形成的人間が人間主體の働きかけと共に生成する。身をうちこんでこそ生まれる文化である。

讀み方などとしての國語は、ことだまを輕んずる。國語は理想にもつと深く根をおろさねばならぬ。かくて我らは教科課程を次のように定めようとする。

自然科	社會科	人間科	用具科
	理想	美的人間性	體育科
		文學 音樂 圖工	

而して我らは學級生活に具體化しようとする。學級擔任は教養の責任者として識見と才能と自由意志の人格を傾ける總ての兒童は仕事と生活で結びつき、分擔し協力し服從し責任を負う。かりそめにも優秀を競わず、安易に妥協せぬ共存社會をなす。我らの態度は案内、共同、仲介の三である。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDS NO.

自發的學習態度の養成

明石郡魚住村立錦浦小學校

緒言　新學制のもと新しい教育運動もおこつてうれしい半面、新しい教育目標達成のための手引の指導要領も出ているのに（指導要領に對する批判はべつ）よくない社會情勢とはいゝながら正直なところ大部分の教師も兒童も家庭も社會も古い習慣から脱しきれないようで、教育の自主性は一般に低調である。新しい教育への着眼と技術にくるいはないかといゝたいのである。學ぶ者は兒童でも學べるように整え教えなければ進歩するものではない。學校には社會改善の夢をもつている筈、學校に教師に不作爲と不明の罪がないか、又それが大きいのではないか、こゝに何とか教育の中心を立直そうとして「自發的學習態度の養成」をかゝげたわけである。然しこうしたことは新しい教育の特色というよりも眞の教育のあり方であつて從來とてもむつかしかつたことで、今日の社會情勢ではまだ〳〵困難で大きな努力と根氣がいるわけである。又こうしたことに關連して問題になるのは教育の内容（教科課程）を整えることであると思うが、これは新教育の重大問題で教育理論家の援助と相當な勇氣と年月を要することゝ考えるので今日では暫定的に教科書を使用し其の鄕土化生活化によつてにごすことにしている。

自發的學習態度養成の方策

1、環境の整理

A、教師の反省と修養—兒童が安心して學べる學校教室の設營

B、學校、教室の物的環境の整理　十分には出來ないが

C、學習の參考物兒童文庫の設備　〃

2、學習指導（指導要領一般編の研究）

A、いかにして兒童の活動を其の方向に起させまたつゞけさせるか——本校の學習がなめらかにすゝまないのは、意欲喚起への努力の不足と兒童の經驗と知識が乏しいためであり、しつかり學習したことに習熟していないからとみている。

B、指導の段階と着眼

一、目的と意欲　兒童のものにするためにどれだけのことをしたか又したことが妥當であつたか

二、計畫と試み　指導前の調査、今持つている兒童の知識と經驗を知つているか

三、練習　結果の考査、知識、考え方、技術は正しいか、どうして習熟をさせるか

3、自由研究の奬勵

先ず「すきなものから」自發性喚起と奬勵への第一歩として努力している

4、評價と奬勵（個人差への適應）

A、從來の學業成績（考査方法は改善）と智能檢査（クレブリンズローイング、智能檢査を實施した。問題の兒童には更にビネー法をやろうとしている——縣立兒童研究所指導）の結果を併せ考え、よいものには更に奬勵の機會とし、惡かつた者には現在の努力をほめ、發育段階になる兒童の將來に希望をもち、要は力一ぱいの努力生活を期待し、無理のないことを念願してゐる

B、奬勵、五段階に分けて能力相應に努力點を示して兒童本人の進歩をほめるようにし、時には進歩賞などもあたえている

5、研究方法

A、發表會　毎週一回自發的學習にやくだつた經驗事項を話しあつてお互の參考にしている

B、研究授業　毎週一回輪番で實施し、お互の研究資材としている。

C、個人調査錄の記載

結び　やつと立上つた程度、實績の上に認めるほどのものはないが、來る十二月中旬には東播地區の實驗學校に公開して、研究所、教育室、參加校の御指導を受けることにしている。全職員がよち〳〵乍ら歩みをつゞけていることは子供のためにうれしいことである。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

自發的學習態度の養成

美囊郡　中吉川小學校

一、題目選定の理由

現實の兒童生活を直視するとき社會的條件等によりその活動が極めて無自覺であり且つ頗る衝動的である

然しその內面に存する自律的自發的な萠芽を認め之を伸展せしめることに努めること、即ち自發的學習態度への指導こそ最も根本的なものとした

二、努力目標

1、精神力の發展につとめる

判斷力と　自覺作用

2、一般的學習態度の養成につとめること

發動的　創造的　努力的

三、現實のなやみ

1、教師論

2、社會の影響

3、實力の貧弱と能率の低下

4、自律的學習の强迫

5、其他

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

學習指導法

一、學習指導の原理

イ、環境原理　ロ、直觀原理
ハ、興味原理　ニ、自發性の原理
ホ、勞作原理　ヘ、創造の原理
ト、共同の原理　チ、發展の原理

二、學習指導の態度

イ、教師は學級社會の一員として存在し兒童の主体的立場を失はしめない。
ロ、適當な助言暗示を與え望ましき行動への促進を圖る。
ハ、兒童の現實の活動（生活過程）を重視する。
ニ、環境の構成に努力し教育成果を擧げる。

三、學習過程と形態

イ、兒童の生活活動が教育的に規正される所に指導過程が成立する、故に本來多樣である、強いて共通的理想的な過程を擧げるならば

（高學年）
1、目的の自覺……問題の構成……問題の構成
2、方法の決定……計畫
3、實行……研究・發表・討議・決解……遊び、作業
4、結果の反省……反省評價……發表……反省評價發表

（低學年）

三原郡　倭文小學校

ロ、問答法（兒童の自主的學習を啓培する意味に於て適宜本法の長所を活用する）
綜合學習（兒童の全一的な生活々動を學校に於てもさせる爲幼學年指導に活用）
問題法（教師の提示、共作、兒童提出と段階的な便法、自學態度の不充分な本校に於ては中心的な形態）
討議法（討議法を採用した指導を立前に活用、社會國語を主とし四年以上に採用三年以下は同法の長所を加味する程度に、）
プロヂエクト法（兒童の現實の能力を充分考慮し理想的方法と考え漸進的に指導）

四、現在に於ける本校の研究主力点

1、兒童生活の實態調査
興味要求の調査　遊び、讀書、勤勞の調査
体位調査　各科別予備調査
知能テスト（個人調査）環境調査
2、學習意欲喚起の實際的工夫
實態調査（好きな學習、嫌いな學習と其の理由）
環境の整備
學習計畫表の檢討
其他（實地指導研究、父兄參觀日の設定）

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

學校經營の問題

民主的な學校學級の建設

津名郡　中田小學校

教育が中田村の學童父兄中田校の全教官の總意の結集によつて運營されることを期した

① 實態調査の基礎の上に立つて教育を省みその上に立つて歩一歩進んでゐること

○個性調査に努力してゐる

家庭訪問。生活調査（定期、特別）

○學習の基礎としての實態調査を適時行い活動への重要な據點としてゐる

② 兒童が自由に自らの目標を立て興味を以て活動を進めて行く學習形態を創造しつゝあり。その經過は

A學習の形態について研究したこと

Bカリキュラム構成についてしばしば研究と吟味を續けた

C目下生活單元を立てねばならぬといふ觀點から關連的（統合）カリキュラムへの方向をたどつてゐる

（教科へ足場を置いて素材研究）

D形態として作業を出發點と考へた

③ 學級の個性を活かしつゝ明るい學校の建設

○教官が和を以て一致協力することに努力

○學年に則した學級運營

教室環境——動的で樂しい場所に

運　營——自治社會の建設

學習形態——縱の連絡を保ちつゝ

○自治生活の構成——愛校委員會の運營

兒童を中心として各部有機的連關を保ちつゝ進んでゐる

④ PTAの活動が盛んになつたこと

○啓蒙的な時代を過ぎて本質活動へ

定期學校參觀　母親學級の運營へ

○環境の構成に非常な力となつた

○文化活動を通して

民主的なといふものが客觀的にあるのではなく生み出さるべきもの、かくてこそ我々の夢見る理想の社會がいつかは實現されることゝ信じつゝ

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

協同社會理念に基づく學校學級經營

川邊郡　川西小學校

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

我が校の歩み方

加西郡 在田小學校

一、終戰直後より本年九月までの概況

(1) A、直後に於ては

○愛情に立つ教育
○純心なる笑ひを求めて
○身心の清潔と明るい健康

この三つを研究問題としてはなく積極的に生活の具體面に手を加へた。而して世の荒風の防さいの位置に教師はたつた。生活訓として「あかるく」「すくすくと」「すなをに」この三つを具現するに努めた

B、生活環境を整美する

世論や社會の流の惡轉に對して學校こそたゞ現實の社會に一つしかない「美るわしい」環境だと子供の童心の中に植へつけて行くことにより惡への流れより救ふことが出來ると信じて學級學校の環境整美に教師子供一體となりて進む

C、父母を通じて家庭生活の有方に歡心を向ける樣父母の教育をなす結果、父母教師共に過去の知的能力の低下を強く反省す

(2) 昭和二十一年度を迎へ知的能力の低下を救ふ爲にその第一段階として

A、基礎的な用具教科は今後如何に取扱ふかを研究問題として一日一日一時間一時間を堅實にやる學習家庭學習と自主的に宿題をなす樣にやるには、との問題を國語の面より手にかけたのである。

○文章を讀む能力
○表現能力
○發表能力
「自發學習に立つ」

B、學校經營學級經營の民主化としてその運營を出來るだけ子供の手に移す、又父兄の手に移すと云ふ經營面に自治的組織を確立し實踐する。

C、結果教師は「子供の力」に初めて強い信頼感と驚きを得た又自主的學問も或る程度成された結果「子供の學校」の安を呈した

又兒童の自發性は校外生活にも課外、校外學習にも強く効果的に働き子供の力により社會より學ばんとする機會も自然に生れた。

(3) 昭和二十二年度は社會科の研究へと中より熟して來たのである「農村に於ける社會科の作業單元は如何に設定すべきか」を中心問題として研究せり

A、學校の經營目標に

○道義教養人
○民主社會人
○科學實踐人
○耐乏健康人
我が在田村の地域性を考へその中の子供の短所、長所を考へてこの四つを混全一體とした

人間像を畫きつゝ社會科を研究す

B、社會科と他の教科との關係如何と云ふ問題を第二に考へつゝ歩んだ

C、各教科共學習形態を社會の學習形態と同一にやるが最もよいと考へ各教科共その線にそつて歩みかけし所、こゝに子供の仕事の過重又同一問題を各教科の面よりつくる爲子供の頭の中に混亂を來した、同時に教師にも過重となり苦しみの連續となり學問に眞の喜びがうすらいで來た、こゝに強い反省を子供も教師も自らうながす結果となつた

(4) 昭和二十三年度を迎へて

社會科の中に當然含まれるものは入れて考へての學習として、「社會科を中心とする國經學習」を問題としたのである

A、生活學習の研究と合せて過去の教科書の再檢討をなすその中より中心なる學習方法を生み出すと考へたのである

B、生活學習（單元學習）の基盤たる ○地域社會の教育要求
○地域社會の子供の生活經驗と興味の方向等實態を正しくつかむ調査を第一段階として着しつゝあるのである

C、更に次の我が校の仕事としては過去の教科書の解體とその要素を分類する

更に廣い社會の要求を前にかゝげた二つ調査を基本として生活カリキュラムを編成し、近代化しつゝある農村に適合する又近代化せねばならぬ新しい農村社會に合致する單元を作る手順をなす

◉「來年度は單元學習と個性教育」の問題に進展する豫定です

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

社會科の問題

社會科の教育

印南郡米田町立米田小學校

一、社會科を研究主題とした理由

社會科のねらいとするところは實踐的な社會人をつくるにある。新教育のねらいもそこにある。而して本校が他教科に優先して社會科教育の研究に手をつけた所以もここにある。

二、本校の實踐のあと

①その方法

A學習計畫を立てるにしても、指導するにしても規範を確立することが大切である。社會科の目指す人間の性格は如何、社會科の目標は、作業單元の構成は、その指導は……等の規範をつくるため學習指導要領の研究や社會科に關する參考書を用いたそして三ケ月の研究の結果やつと規範ができあがつた。

B單元の構成とか指導計畫などは一教師だけの努力ではあまりにも複雜性と綜合性とをもつているので、共同研究會によつて個人の研究の深化、擴充をはかつていくこととした。

②內容の構成

A社會科は課題の解決をはかることによつて實踐的な性格をつくるにあるといわれているが、その課題を如何にして發見するか。本校のとつた方法は地域社會の諸施設の調査をなし、知識階級と思はれる父兄に社會的機能についての意見を聞いて見た。結果は參考書などにかかれている、社會の課題とあまり大した差異を認めなかつた。

B子供の實態は基礎調査として學習指導要領の活動例と、自由な立場で生活領域と興味關心の調査をやつて見たが、明確なものは得られなかつたので、單元指導の時に實施する豫備調査を重ねて結果を一年後に俟つこととした

C單元と指導計畫の樹立

實態調査の結果と地方の實情に即して文部省の問題單元を參照としつゝ單元をつくつて見たが、色々と議論を重ねて低學年は生活教育として實踐的なものを加え、單元の數を增加し、高學年には生活領域をうんと擴めることとし、とりあえず指導計畫を樹立したが、確信のもてるものではないので經過記錄を記入して實施後、改訂していきたいと考えている、

③實踐

單元の學習の後では必ず學年で檢討を加え、共通の問題があるときは隨時共同研究會によつて解決をはかつて行くようにしている。

以上概括的な記述ではあるが本校の實踐の經過の概略である、素朴なそして不備なものであるけれども今後の實踐によつて漸次よきものにきづきあげて行きたい考えである。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

本校社會科經營五ケ年計劃

（自昭和二十三年 至昭和二十七年）

多可郡中町　第二小學校

（五）中町生活課題の討議決定

學校で教育懇談委員會

第二年　社會科經營の發展施設の充實

1、育友會館の設定

社會科を中心に新教育の研究懇談室ともいつた性格をもつた部屋を設置して教育協同體のそして文化活動の軸心としたい、そこには研究物、參考資料、標本、圖書、寫眞、圖表等を蒐集して成人も子供も利用できるものにす

2、兒童圖書館の充實

3、學校放送の設備

第三年　社會科カリキュラムの再構成と其の教育活動內容研究の完成えの努力

第四年　本校社會科學習指導の手引を編纂

第五年

1、教育協同體の確立

2、兒童園の完成

3、健民室の整備

第一年　昭和二十三年四月

（一）本校教育經營組織の梗概を樹立

1、社會科單元表の作製

2、本校社會科の現在

（分離コース　中核カリキュラム　相關コース　統合カリキュラム）

（二）中町民の生活基體再調査

この町が如何なる生活基體によつて構成されているかを再確認する

（三）其の生活基體が現實に果している役割について再調査と分類

生命資源　交通運輸　生産

保全保護　通信交際　消費分配

更生　宗教的美的

慰安　情操の表出　教育　政治　家庭等

是れによつて中町の性格や町內各地區の特殊性を徹底的に究明する

（四）社會科單元の構成と教科書

DECLASSIFIED E.O. 12333 SECTION 3.402/NNDS NO.

社會科學習の實踐

芦屋市　岩園小學校

教育を地域社會と兒童生活に即した生活教育として實踐するに際し、その地域を芦屋市と決めることは適當と考えられる。それは芦屋市が自治組織體であり、文化、經濟、あらゆる點から社會生活の場としての集團をなしているからである。そこで市内各小學校を一團とする研究組織をもち、教育委員會、市當局、PTA…と密接な關聯を保ちつゝ、協同して調査研究をなし、地域社會芦屋の上に立つ教育計畫を立てるべきである。こゝに實踐的な教科課程が編成され、教育は地域社會の要求に即應しつゝ教育の一般目標を目ざして生々と營まれるのである。

本校はこゝに一應社會科の經營を研究問題としてとり上げ、上述の軌道に教育を乘せていきたいと考えるものである。

社會科はよりよい社會をつくるために、社會生活を理解させ、その進展は協力する態度、能力を得させることを目ざすものであらう、その教材は生活現實を問題とし、地域の社會的要求の上に立つて構成さるべきであるから、本校は作業單元を設定するに當つて、まず地域社會生活の現實調査から出發した。その結果芦屋が消費都市、住宅都市、文化都市であるというその主たる性格を捉え得た。次いで單元への素材を求める上から社會生活を家庭、學校、一般社會の三つに分類し、更にこれを細分類して社會機能を家庭、消費、交通通信、政治、保全、健康、教育、文化、交際娯樂の九項目に分つた。次に各項目中に芦屋を地域とする社會生活を理解させ、これを進展させていく上にどんな問題があるか、又社會科の一般目標はどうであるか、兒童の經驗範圍や知識、興味、發達程度はどうか、これらについて調査研究した結果、別表の如き作業單元表の設定をみた。こゝに留意すべきはさきに上げた社會機能の夫々は互いに有機的に關聯しあつて社會生活を形成するのであるから、例えば消費に於ても必要により生産活動の面も學習としてとり上げられることが考えられる。これらの具體的なことについては、研究中の學年別指導計畫表によつて明らかになる筈である。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDS NO.

社會科教育の基礎的研究

城崎郡　香住小學校

一、前年度よりの學校經營主要努力事項

（一）學校教育環境の整備

（イ）校舍校地の營繕修理

（ロ）設備備品等の修理活用

（ハ）放送教育設備

（ニ）情操教育施設

（ホ）音樂教育設備、花壇理科觀察園設備、傳書鳩飼育

（ヘ）教育文化施設

（ト）少年圖書室、幻燈映畫による視覺教育設備

健康教育設備、幼學年兒童遊園地設備

職員優遇施設、教員住宅建設

（二）教育內容の整備と充實

（イ）教師の主体性確立への努力

民主教育理念の把握と實踐　教育研究

（ロ）教育の民主的運營　組織と活動

（ハ）社會科教育の研究と經營

（ニ）兒童訓育の重視と適正なる勤勞教育の實施

（ホ）地域社會學校への方向づけ

（三）家庭社會との一体的教育活動の促進

（イ）P、T、A、の組織と活動

（ロ）教育懇談會　母の教育講座開設　職員の部落出張家庭訪問の勵行　教育情報の交換

（ハ）香住町こども愛育會の組織と活動、教育的公共機關施設との提携連絡

二、實驗學校施定後に於ける教育研究

（但馬地區共同研究題目―社會科を中心とした學校經營）

（一）學校學級經營

（イ）運營組織の檢討と構成

（ロ）各教科經營の組織と活動

（ハ）學校（校內校外）自治會活動の研究

（ニ）教育施設の繼續的整備

（二）社會科教育の基礎的研究

（イ）社會科教育現況の批判檢討

（ロ）基礎的研究

社會科教育の目標並方針の確立

學習指導要領の再研究と教育の具体化實際化

地方化の研究

（三）實態調査の施行

（イ）兒童調査　家庭環境調査　鄕土調査

（ロ）兒童の生活調査（學校生活、家庭生活、社會生活、遊戲、勤勞）

（ハ）社會の輿論要求調査

（四）社會科教育經營の實際

（イ）社會科教育經營案（學年及學級）の樹立

（ロ）單元構成の研究と實施

單元構成の根本態度の確立　實施調査案の改訂と研究

（ハ）學習指導形態の研究と實施（學級別、學年別全校研究會）

學習指導計畫　指導內容　兒童學習活動の研究

研究實踐記錄の繼續的作成

（二）學習施設の擴充

圖書室經營　幻燈室經營　學習資材の蒐集整備

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDS NO.

社會科作業單元の構成と其の展開

洲本第一小學校

一、新教育の課題と社會科
　1 新教育―教育内容の構成
　2 社會科―社會生活の理解、態度、能力
　3 中核的教科
二、作業單元の必要
　○問題單元と作業單元
三、作業單元構成の基本的手續
　1 社會科に對する一般的研究
　2 一般社會の機能調査研究
　3 地域社會の實態調査
　4 兒童發達段階の調査
　　生活圏、興味、讀書、遊び、希望
四、作業單元の設定

本校に於ける作業單元一覽表

學年／月	一年	二年	三年	四年	五年	六年
四	楽しい學校	二年生	お友達	學校の建物	僕等の勉强法	私たちの生活
五	お家の人々	學園の世話	兎の世話	家具	學校給食	新憲法
六	お誕生會	そうじ	兎の世話	食物の貯藏	病院	上手な物の買ひ方
七	たべ物しらべ	おつかい	水源地	お盆	税務署	新聞とラヂオ
九	お客ごっこ	作品展覽會	生活反省	紙芝居	氣候と增産	職業
一〇	うれしい遠足	丈夫なからだ	私の家	炭焼き	氣候と增産	讀書と時間
一一	家から學校まで	くだものや	私達の着物	淡路の交通	洲本港	紡績工場
一二	おてつだい	おまはりさん	私達の着物	地震	防火	安全な生活
一	おけいこ道具	郵便あそび	お正月	親類	アメリカの友達	電力
二	元氣な子供	かるたとり	宇山驛	市役所	郵便局	電力
三	おひなまつり	お話會	反省	社會科の反省	演藝會	世界の國々

DECLASSIFIED E.O. 12958 SECTION 3.402/NNDS NO.

社會科を中心とする學校經營

養父郡　伊佐小學校

一、經營の意圖

新しい教育の理想は地域社會學校の姿に於て實現されるべきであると信じ ①學校生活の場を地域社會の實態を組織化して之を基盤として構成しよう、 ②社會科を中心とする教育內容の編成をしようと意圖した。もとより容易の業ではない。年を逐うて一歩々々堅實に建設の歩を進めるため基本方針を決定。

二、經營の基本方針

1 地域社會學校への基盤を擴充して行こう
2 生活の實態に即した教育の方途をたてよう
3 經驗構成の教育を實踐貫行しよう
4 自發自律の態度を育成しよう

斯くして兒童が自らの力によつて個性を伸ばしその生活力―…社會生活の知識、技能、理解、態度……を身につけて行くふさわしい環境の整備に努めよう

三、本年度の計劃と經過

1 地域社會の實態調査、鄉土の課題の把握
　○諸調査實施中
2 兒童の生活調査　精神測定
　○實施整理中
3 社會科を中心とする教育內容の編成
　○社會科の學習單元細案（試案）編成完了
　○他教科は關連に留意して取扱ひ統合えの研究を進める
4 學校社會部の建設と運營
　○社會活動の諸機能を學校活動のうちにとり入れ組織化して兒童の社會生活の場を構成する之によつて兒童は學校經營に參劃し、自律的に自治活動を推進する
5 學習形態の改新について研究實踐する
　○單元學習の正しいあり方効果判定の活用につき研究會を續行中
6 環境の整備につとめる
　○教具（學習設備）の講入作製による充實　實施中
　○圖書（兒童文庫　教師の研究用）購入、充實につとめる
　○放送設備完成

以上

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDS NO.

社會科指導を中心とする學校經營

出石郡 福住小學校

一、學校經營の基調
二、學校經營の方針
三、學校經營の目標（年次計畫）
四、本年度努力事項
1 運營（經營）の組織化　2 教科課定の構成
3 學習指導法の研究　4 自治の確立
五、
5 環境の整備
六、經營の實狀
社會科單元の更新と其の展開
1 作業單元の意義
2 作業單元作成の順序
（イ）社會機能の決定　（ロ）學年の目標決定
（ハ）發達段階の決定　（ニ）問題の作成
（ホ）作業單元の作製
3 作業單元を決定する要因となるもの
（イ）兒童の直面する問題　（ロ）兒童の身心發達の狀況やその特性　（ハ）兒童の生活環境
（ニ）各學年の目標　（ホ）學習指導計畫
4 適切なる作業單元の基準
5 作業單元の立案
（イ）學習目標の選定　（ロ）學習內容の選定
（ハ）學習活動の選定　（ニ）學習効果の判定
（ホ）學習時間の配當
6 作業單元の展開
（イ）發端の段階　（ロ）計畫の段階
（ハ）調査の段階　（ニ）深究の段階
（ホ）報告の段階　（ヘ）判定の段階
七、社會科教室の經營
1 研究經營の意義
2 社會科研究室の性格
（イ）研究室的な性格　（ロ）準備室的な性格
（ハ）社會文化室的な性格
3 社會科研究室經營の方法
（イ）企劃について　（ロ）資材について
（ハ）運營について
4 經營の實際
（イ）研究室資料の整備　（ロ）資料の作成
（ハ）平常の經營　（ニ）社會科教育資料

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

社會科指導を中心とする學校經營

出石郡 福住小學校

一、學校經營の基調
二、學校經營の方針
三、學校經營の目標（年次計畫）
四、本年度努力事項
1 運營（經營）の組織化　2 教科課定の構成
3 學習指導法の研究　4 自治の確立
五、環境の整備
六、經營の實狀
1 作業單元の意義
2 作業單元作成の順序
（イ）社會機能の決定　（ロ）學年の目標決定
（ハ）發達段階の決定　（ニ）問題の作成
（ホ）作業單元の作製
3 作業單元を決定する要因となるもの
（イ）兒童の直面する問題　（ロ）兒童の身心發達の狀況やその特性　（ハ）兒童の生活環境
（ニ）各學年の目標　（ホ）學習指導計畫
4 適切なる作業單元の基準
5 作業單元の立案
（イ）學習目標の選定　（ロ）學習內容の選定
（ハ）學習活動の選定　（ニ）學習効果の判定
（ホ）學習時間の配當
6 作業單元の展開
（イ）發端の段階　（ロ）計畫の段階
（ハ）調査の段階　（ニ）深究の段階
（ホ）報告の段階　（ヘ）判定の段階
七、社會科教室の經營
1 研究經營の意義
2 社會科研究室の性格
（イ）研究室的な性格　（ロ）準備室的な性格
（ハ）社會文化室的な性格
3 社會科研究室經營の方法
（イ）企劃について　（ロ）資材について
（ハ）運營について
4 經營の實際
（イ）研究室資料の整備　（ロ）資料の作成
（ハ）平常の經營　（ニ）社會科教育資料

DECLASSIFIED E.O. 12958 SECTION 3.402/NNDS NO.

社會科を中心とする學校經營

朝來郡　竹田小學校

一、研究經過　昨年四月學制は改革されて歴史的な第一歩を印した。さて竹田の子供を見つめた時學ぶ意欲は喪失し、道義は頽れて放浪兒の集團とでも形容したい實情であつた。少くとも當校の教育はこのいたましい現實から築き上げねばならぬと考え、職員と熱議するは元より一方實態調査によつて確證を握り深く温ねて方途を案じた。必ず物には輕重があり事には先後がある。學校經營案の中にはその事を考慮して克明に自治組織とその指導に力点を置き、學級經營上の主要問題にすると共に他方育友會に呼びかけ物心兩面の協力を懇請した。誰の思いも一つ全幅の賛同を得て環境整備を圖りつつ漸次自治への芽生を育成した。然し吾々の營が學校教育なる以上教科の支えがなくては擴充も發展もあり得ない。そこで社會科の研究を重点的に押し進めることとし全校一丸精力を之に傾到して年度末にその結果を公開して大方の批判と指導を受けた。かくて本年も前年度の基盤と反省の上に立つて、全面的に新教育を開拓する構想をもつと共に矢張り社會科の掘下を中核に置き苦斗の中にも遂次素願の具現をものしつつあつた時實驗學校を拜命、茲に於てか責任は更に加わり兒童職員相倶に誠實以て本旨に應えるべく一層の決意を固めた次第である。

さて其の實踐面として先づ八月の休暇を利用して一二年をコーアカリュラムに、三年以上は前年度の社會科單元を根本的に修正して學習の現實に即應させ、其他姉妹關係にある家庭科單元の構成や實態調査の擴充に力め、第二學期より之が實施に專念し去る九月二十日第一回集會を中間發表の好機として貧弱乍ら公開し研究所は勿論但馬の同志に批判と助言を賜わつた。

二、反省と計畫　竹田の子供としての特異性を生かし、新世界觀の具現に努め、うつて一丸三月には主題に對する一應の實驗成果をもつて公用する日を夢みつゝ精進したい。幸に同憂の士公正な批判と助言を賜わらんことを。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

郷土社會學校のあり方

姫路市　余部小學校

1、具体的な現實社會の生活を基盤とする教育こそ新教育であり郷土社會學校のあり方である。

2、本校は終戰後郷土社會を背景に兒童の自發活動を立眼に教育實踐をなして來た。

學習面では自學自習發表討議を重んじ、訓練面では自治を重んじ現實の生活を出來る限り自治的にやらせている。例えば兒童委員の選擧等は公選方法をとり公民的訓練と共に責任と自覺を持たせる樣工夫している。一方情操陶冶面としてラヂオ、映畫、ダンス等の利用をはかつている

3、七月に實驗學校に指定されてより郷土社會學校のあり方について研究をはじめた。先ず社會調査、兒童調査をなし九月上旬一應の結論を見出し生活單元學習へ切換へた。教師に於て一年及學期の見透しを立て次に月、週及び日日の學習計畫を兒童を主にして立てている。

四年以上には學習計畫帳を持たせ具体的な計畫樹立から實踐へと進めている。

然しその間に種々の問題が生じて來る。

先づ第一の問題はカリキュラムの構成である。

本校は教師の人生觀、教育觀に基いて教科の本質を研究し生活單元のカリキュラム構成へと進つゝある。即ち生活單元のカリキュラムを本体として側方に用具と見らるゝ教材カリキュラムを作り出來得る限り後者を前者に統合させ一体融合の姿にまで發展せしめる事を念願している。

第二の問題は指導技術の面である、之は教師の兒童觀並に指導原理の確立をなすことを先決とし具体的技術面の研究にかゝつている。

即ち最も能率的な學習指導技術の体得をしたいと考えている。

第三の問題は設備施設の充實である、之には先ず研究資料室の經營にとりかかつている。

第四の問題は現實社會との一体的進展をはかることである。即ち郷土社會の行事設備施設並に有識經驗者等の利用をなしつゝ一体融合の姿に於て進みたいと考えている。

以上四つの面より郷土社會學校のあり方を考えつゝ研究を進めている

以上

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/MNBS NO.

第二日

教科課程の問題

カリキュラム編成と學習への展開

武庫郡　魚崎小學校

一、研究の發端　教育は現實の社會生活の向上に對する努力であつて、小學校に於ても兒童はそれなりに現實の問題を解決しようとする學習でなければならない。その課題が科學的な根據をもつ調査から得られ、生活經驗カリキュラムによることが望ましい。

二、一般調査　われわれの生活域の概貌を知る一般調査は資料集收及び訪問により、A政治・保全文通。B文化・厚生・健康・宗教・C生産・消費家庭の十スコープを假定して行い、三月末完了。

三、基礎調査　一般調査に基き更に町民一万二千百九十八名を對象として個人別、世帶別に四月十二日現在で基礎調査を施行、各項目についての集計を六月二日完了。

四、スコープの決定　一般調査、基礎調査に基きスコープ決定委員會を持ち七月初旬スコープ九項目を決定。

五、一般目標の決定　更に右調査に基き育友會の四部會（文化・保全・厚生・家庭）と町委員會との意見に俟ち目標決定委員會がもたれ、七名の教員が參加、四つの一般目標を決定。

六、シーケンス決定　七月初旬シーケンス決定委員會を編成、興味、態度、能力の三面から調査、一・二年、五・六年のまとまりを發見し三・四年はその移行期としてシーケンスを決定。

七、問題別調査　スコープ九項目について更に具体的な現實の問題をとらえるべく基礎調査による職業、年齢、學歴、在住年數等による見本調査の形式によりスコープ一と八について問題別調査を實施。

八、學習への展開　七月中旬、各學年別學習計畫委員會が持たれ、問題別調の結果を基礎としスコープ一についての指導計畫案と作成、同じく八月下旬スコープ一について實施、學習に展開す。

九、今後の研究　殘る各スコープについて問題別調査の完了。カリキュラムプログラムの作成實際學習の技術的研究。効果判定。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

廣領域教科課程の構成と學習指導の在り方

美方郡　居組小學校

一、題目の確認
（一）新教育の世界觀的基礎と、吾々の求めるもの。
（二）新教育の內容的側面を規定するもの。
（三）教育觀の確立。
1、問題の展望
2、人間觀の變革と秩序の革新
3、人間形成の過程とデューイの提言
4、學校教育の革新と教育活動
5、理想的人間像の把握の教育觀の定立
二、教科課程構成の基盤。
（一）構成上の原則
（二）實踐上の問題
（三）カリキュラム構成上の配慮
1、學校教育と單元設定の必要
2、單元撰擇の要件六つ
（イ）（ロ）
（ハ）（ニ）
（ホ）（ヘ）
三、具体化についての問題。
（一）社會の要求からの考慮と社會調査
1、學習活動の地域性
2、社會調査の方法
（二）兒童の要求からの考慮と兒童調査及環境調査
1、兒童調査の必要と方法
2、環境調査の必要と方法
四、日本の建設性に培うもの。
五、わが校の教科課程圖式（略）

DECLASSIFIED E.O. 12958 SECTION 3.402/NNDS NO.

單元學習による學習形態の諸問題

加東郡　福田小學校

即ち學習形態の問題に集中して研究がつゞけられた段階である

一年は綜合　二年は教科區分内に於て綜合
三、四、五、六年は　分科的取扱（特に個人學習を強調）二月に個人學習本態主義の標題で公開研究會を開く

(3) 第三楷程――**單元學習**

この段階は主として學習形態の發展として兒童の學習生活が自ら擴がりと秩序を整えて來た時期で兒童中心の實態がいよいよ結實期にこゝにこれを標題として公開研究會達した、をひらき批判と指導をらくこの段階に於ては將來に地域社會學校の構想を豫想しながら反省と檢討を加へ、單元の設定、カリキュラムの構成、教育諸問題の基盤的調査……等々の研究と解決に努力を續けている

この段階がいよいよ成熟した機には必然的に地域社會學校の形態を備えて來るものと確信している

一、研究の基本的態度　終戰から今日迄の約三年に於る本校教育の展開相を要約すると

(1) 〃常に眼前の兒童を見極めて行く〃　現實の實態から出發

(2) 〃一の卑近な具體的な問題を解決する所から必然的の次の問題を解決し更に次の問題の手がかりを得る〃といふ段階的な研究順序を辿つた

(3) 〃理論はいつも實際の後にいて之を實證する〃　研究態度

二、研究の段階

自發、協同、經驗の三原理 → 個の問題 → 學習形態の問題 → 單元學習の問題 → 地域社會學校

(1) 第一楷程の展望――**兒童の解放**

劃一形式的教育から兒童を解放して三原理（自發、協同、經驗）を踏まえての學習の創造

(2) 第二楷程の展望――**個人學習**

前段階と承けて漸く擴がりを見せて來た兒童の個々の學習狀態が一の體系を具えて來た、

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

生活カリキュラムの構成

加古郡　加古川小學校

一、本學年度の研究目標

地域社會學校としての運營に基盤を置き、しかも生徒カリキュラムによつて本校教育の体系を樹立しようとする。

二、研究計畫

1、第一學期は從來の暫定單元による授業とこれが檢討に充てる。

2、八月中を第二次研究期間として教師の單元作成の研究に充當する。

3、第二學期以後を學習指導上の研究並單元修正期間とする。

三、中心學習採擇の理由

1、社會科暫定作業單元が學年の發達段階に即應せず從つて系統的進展性のなかつた點。

2、スコープとシーケンスの嚙み合わせが適切でなかつた點。

3、社會科と他教科の連關に圓滑性を求め、社會科を獨立教科から一般社會科へ、更ら

全体計畫の中核カリキュラムへと思考されねばならない點。

四、現在までの研究

1、單元表と細目の編纂（表は省略）

2、兒童及社會調査

イ、生活領域調査

ロ、生活地盤調査（自然領域、社會條件、歴史條件）

ハ、生活單元調査（家庭、職業、意識、職能分析）

ニ、社會施設調査

ホ、兒童調査（課題認識、關心發達、學習能力）

3、効果判定

教育の合理化と促進をねらう

五、結論

以上

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

特別講義

（二十二日一時—三時
二十三日一時—三時）

廣島文理科大學教授　文學博士　皇至道先生

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

余部村を基調とする教育

飾磨郡　余部小學校

余部村を基調とする教育を研究して行くために、本校のとりつゝある過程は次の二段階に分けることが出來る。即ち、

一段階　カリキュラムの研究をする。
余部村の實態を調査する。

二段階　前段階に於て調査し、研究したことを調和させ、余部村を基礎としてその上に立つ教育を打立てる。

さて、以上の計畫のもとに本校の今まで辿つたあとは、

一、委員會の設置
二、カリキュラムの研究
三、實態調査
　1. 兒童の生活調査
　2. 地域社會の調査

これ等の實踐を通じて、我々はこの仕事の如何に重大であり困難なものであるかを身を以て味つたのである。旺盛なる研究心とたゆまざる忍耐、盡きざる教育愛こそがこれを達成する原動力であると考える。次にこの過程に於て感じたことを記す

1. 本校の教科課程を教科目教科課程とするか、相關教科課程をとるか或は更に進んで融合教科課程までもつて行くかについて大變困つたが結局第一歩よりはじめることにした。
2. カリキュラムについての參考書が少くてその研究に困難であつた。
3. 實態調査は教師も兒童も不慣れで困つたし、その所理の研究が容易でない。
4. 余部村の教育の現狀の把握から、將來あるべき姿をえがき出すことは仲々の大仕事である

將來進むべき方向は次の如くである、

1. カリキュラムの研究と實態調査の繼續。
2. 對外發表會を開き廣く指導を受ける。
3. 本年度で終る仕事ではないのでつゞけて完成を期す。
4. 机上の計畫でなく毎月毎月の實踐のあとが集大成されてカリキュラムとなる。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

學校經營の問題

科學性に立脚せる美的情操陶冶を重視する學校學級經營

尼崎市立　塚口小學校

(A) 經營の基盤

一、基礎調査

生活實態調査兒童の精神的身體的性格的調査（參考物參照）

二、教育理論研究

社會の研究——政治　經濟

兒童の精神身體社會的發達段階

(B) 計　畫

一、學級經營

1、自治會による自發的運營

2、繼續的發展的研究心の養成

3、文化的心理的生理的教室經營

4、家庭社會との連絡による經營

二、教科經營

1、兒童環境より出發せる作業單元の樹立

2、藝術教育の重視

3、自發的學習の重視

4、個別指導共同學習による個人差の教育社會性の陶冶

三、施設經營

1、學校自治會　學級自治會

2、圖書館鄕土室科學室學園の經營

氣象觀測實驗實測設備

3、ラヂオ、レコード映畫等の鑑賞學藝發表會

4、衞生室體育室の充實と諸調査

(C) 摘　記（年次計畫）

一昨年度の生活實態調査

1、內容

住宅（罹災、住居、家族、近隣、疎開）

家庭（場所、職業、學歷、出生地、本籍、家族引揚者、宗教、間取躾、兄弟數、文化施設）

遊び（種類、集團、場所、時間）

讀書（種類、量、入手の方法、必要性）

學習（好嫌、方法、家庭學習の時間）

勤勞（手傳、種類、時間、自律的、他律的）

2、實態調査による傾向

社會家庭

①他府縣からの轉住者が多い

②生活は一般に高いが生活程度の差は甚しい

兒童生活

①鬪爭的射倖的な遊びが多い

②讀書は多方面に亘り讀書力旺盛である

③學習に對する研究慾は比較的旺盛である

④勤勞方面は他律的で持久力に乏しい

實際教育への具體化

①自治會の運營による自律的協同的生活陶冶

②社會科を中心とする作業單元の設定

二、本年度の生活實態調査

1、內容

①美的生活態度（清潔、整頓、美化、趣味）

②自然美に對する態度

③藝術美に對する態度（繪畫、工作、音樂、その他）

2、傾向

①美的生活態度は豫想外に不良

②藝能方面を好み且つ美的感覺が鋭敏である

3、實際教育への具體化

①繼續的調査に基き自律的な生活態度を培う

②環境の美化と施設の充實

③藝能教科の充實と學藝發表等による美的情操陶冶

④學校家庭社會との一體的教育

三、來年度の計畫

知能體力の檢査を行い個性應能教育をなさんと欲す

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

轉入兒童及村外出生兒童とその影響

神崎郡　長谷小學校

一、性　格

明　朗　積極的　自發的　標準語に近い服裝端正

二、智能檢査（田中B式による）

三、智能偏差値の品等による調査

四、學級指導者調べ

學級兒童による綜合判定

五、指　導　法

イ、五年、六年

合　併

ダルトン案加味

能力別加味

ロ、四年

教員二名

能力別加味

ハ、朗讀會、發表會、藝能會開催

ニ、轉入兒童及村外出生兒童に深い理解を持つ

以上

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

教育評價について

兵庫縣伊丹市立　伊丹小學校

一、題目選定の理由
　1、新學籍簿の精神　2、新學籍簿の表現形式
　3、本校の特殊性　4、評價方法研究の必要性

二、研究の方針
　1、段階的研究方法　2、第一段階の内容

三、研究の實際
　1、學業テスト
　　イ、選擇課目とその理由　ロ、テストの内容と方法
　　ハ、テストの結果
　2、智能テスト
　3、生活調査
　　イ、選拔人員とその方法　ロ、調査事項
　　ハ、調査方法
　4、情意テスト
　5、体力テスト

四、研究の將來
　1、第二、第三段階の内容　2、教育評價の標準化

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

第三日　中學校の部

學習態度の問題

自學態度の養成と圖書館（自主的自發性の原理）

揖保郡　正條中學校

（一）自發性の原理

明治以後の日本の教育が一切の教育活動に自主的目的性が欠除していた、殊に封建的な農村子弟の教育にはこの根本的なものが未だとり返されぬ。

その理由の主なものは

1、作られた學校であつたから
2、進學希望者が少かつた（別表）
3、環境（社會的）そのものが消極的であつた
4、環境的に刺戟が少かつた（別表）
5、畫一的であつた
6、文化財の貧困（別表）

我々は生徒の個性尊重の問題と同時に教育內容及び方法としての自發性の原理はデモクラシー教育の核心ともいうべきである

（二）自發活動の方法

1、興味を持たせること—興味は手段であると同時に目的である
2、作業勞作化した學習
3、必要を体驗させる—必要を感じさせる環境に生徒をおいてやる
4、知識經驗の整理反省—經驗の再構成
5、自由研究クラブ組織にある自主的自發活動重視
6、學習形態
(1) 個別指導と社會生活の連携融合
(2) 學習は生徒の生活であり生活は凡て學習である立場

（三）圖書室

1、學校圖書室の目的と積極的な教育活動—施行規則第一條
2、圖書室（圖書館）の經營一般

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

父母と先生の會は新しい問題だけに常にその發足にかえつてあり方を反省

學校圖書館の經營と自學態度の養成

宍粟郡　安富中學校

經過

第一期　基礎研究期　七月—八月

(一) 研究方途の協議

(2) (1) 研究方針

(2) 研究計劃　第一期　基礎研究期　7月—8月

第二期　研究實踐期　(前期) 9月—10月　(後期) 11月—12月

第三期　研究整頓期　1月—2月

(3) 研究組織

研究主任(一)　圖書研究部(主・副)　企劃　管理　讀書

學習研究部(主・副)　教科　主任

(二) 生徒に關する基礎調査

(1) 學習環境調査

(2) 學力調査

(3) 讀書傾向調査

(三) 豫算編成

(1) 收入之部　圖書部　農業收益　一〇、〇〇〇円

PTA後援　一七、〇〇〇円

追加豫算　二〇、〇〇〇円

學習部　臨時費　三二、〇〇〇円

臨時部　五一、〇〇〇円

(2) 支出之部　圖書部　綜合及設備　二九、〇〇〇円

種類別　五〇、〇〇〇円 (一種類五〇〇〇円)

學習部　職員研究費　三一、〇〇〇円

其の他　二〇、〇〇〇円

(四) 職員研究方面

(1) 新教育研究會　七月　新教育研究協議會の活用

(2) 各種講習會聽講者派遣

イ、圖書館經營講習會　嬉野　下村教官

ロ、教育心理　姫路　山本、新土

ハ、教員再教育　加古川　月輪

ニ、新教育講習會　山崎　全員

ホ、教育心理　山崎　新土

ヘ、明石女師研究會　明石　全員

ト、生活カリキュラム　魚崎　山本、下村、平井

チ、兵師研究發表會(豫定)　兵師　月輪、建部、小林　志水、岡田

第二期　研究實踐期　前期　九月—十月

(一) 報告と協議

(1) 各講習會出席者、報告討議會　九月上旬

(2) 各調査統計報告協議會　八月下旬

(二) 方針の確立　九月上旬より下旬まで

(1) 學習指導一般方針

(2) 各科學習指導方針

(3) 各科學習要目作製　二學期分九月下旬

(4) 圖書經營案

(5) 圖書閲覧規定

(三) 自學指導研究會(授業研究)

一週四名宛—九月第二週より毎週開催

(四) 圖書購入狀況　(九月二十二日現在)

生徒用　三〇〇册　約　三二、〇〇〇円

職員用　七〇册　約　五、九〇〇円

(五) 圖書利用狀況

讀書指導　主任及各學級主任

自由閲覧時間　放課後四時迄　以下略

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

自發學習へのつたなき營

佐用郡　久崎中學校

一、教育活動の根基となる事項

【本校發足一年有半の概要】

1、校下の大要　2、教育に對する父兄の態度
3、校舍及設備の狀況　4、生徒の實狀
5教師の力と其の活動

二、自發學習へと苦しんだ歩み

1、學習意欲昂揚の營　2、學ぶ態度をつくる爲にとつた方途の數々
3、其の結果さづいた事

【新計畫の基】

三、新計畫の試みとしての夏休みの學習指導

1、事前指導　2、夏休學級の編成
3、指導計畫と其の實際　4、其の結果

四、新計畫

1、學級編成の改革　2、學級と教科及指導時間
3、教科と擔任教師　4、教科の指導方針
5、指導方針に基づく設備

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3.402/NNBS NO.

研究態勢を如何にして確立すべきか

赤穂郡　高田中學校

一、研究内容

A　如何にして研究態度の確立をはかるか
○問題をもつ生活
○問題を解決しようとする努力の生活
○科學的技術の收得

B　如何にして研究施設の充實をはかるか
○讀書施設の充實
○理科的實驗觀察の施設の充實

二、研究方法

A　研究態度の確立
イ、教師の一人一研究
ロ、教科指導の研究
研究的態度の養成の面から見た指導法の發見
ハ、クラブ組織による指導研究
個別指導――研究方向の發見
ニ、研修の時間設置と獨自、協同、研究調査
○與えられた問題
○共同で出來た問題
○生徒自身の問題
ホ、研究調査の結果
○言語發表　○文書發表
○作品發表

B　施設の充實
イ、讀書施設の充實
○實態調査
○購入圖書の調査
○圖書室運營の研究
ロ、理科的設備の充實

三、研究調査事項

A　新教授法のあり方についての檢答
B　個人別研究態度並研究力の進度調査
C　讀書室の充實と活用
D　科學的合理的生活態度の向上方途
E　設備充實を現下の經濟狀態に於て如何に考案するか

四、行事

七月――計劃協議會
八月――研究組織の編成
九月――研究授業（月四回）研究發表會（月一回）
十月――研究授業　研究校相互參觀　中間報告會
參加　講師招聘研究會
十一月――研究授業　研究發表會　研究校相互參觀
十二月――研究發表會　研究校相互參觀
一月――講師招聘研究會　研究發表會　研究校相互參觀
二月――研究發表會　研究校相互參觀
三月――研究發表會

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

相生市

相生中學校

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

課外における生活指導

氷上郡　竹山中學校

一、研究題目選擇の理由
　(1) 生徒の實狀から　(2) 地域社會の實狀から
　(3) 學校運營の實狀から　(4) 新教育の本質から
二、課外の意味
三、課外における生活指導の目標
　「明かるく榮しい學校生活」
四、課外における生活指導の運營
　(1) 運營の方法
　　イ、一日の學校生活の在り方　ロ、一週間の學校生活の在り方
　(2) 教科外の諸活動とその運營
　　イ、ホームルーム活動　ロ、クラブ活動
　　ハ、自治組織にもとづく全校的活動
五、生活指導の基盤としての實態調査
　　イ、知能檢査　ロ、性格檢査　ハ、環境調査
六、今後の問題
　(1) 地域社會との關連における生徒行動の實態把握
　(2) カリキュラムの構成

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

訓育を斯く考う

有馬郡　長坂中學校

一、意味觀　實踐躬行反覆練磨によつて直に情意を陶冶して善良なる習慣、性格の育成を期せんとする繼續的作用であると思考するものである。

二、目的觀　訓育の目的は性格の育成である、性格とは人の意志が常に倫理的價値關係に基づく一定の原理に據つて發動する所の精神組織である、訓育の目的は道德的品性の養成、理性的意志の陶冶で而して理性的意志の作用は衝動や狹義の意志の生活の上にあるのだから生徒の感性的な生活を精神的な生活に導く事が訓育の主要な任務である。故に生徒の感性的生活が豊かになし得られるやうな狀態に於て理性的意志の統制がよく行はれるやうに陶冶するのが訓育の本旨であると思う。

三、範圍觀　生徒の全般の生活にわたつて行はるべき全我的訓練である。

四、訓練の生活的把捉

1、思想的背景

「生活を生活によつて生活まで」をモットにして歷史的社會的な縱橫十文字に關連した生活、其の現實の生徒生活を生活さし充實さす事が第一の條件である。

2、生活の凝視、實踐

訓育上生徒生活全領域に亘つて而も統一的に把捉する事が必要である、訓練は實踐を中心とする

五、生徒の觀察と生活實態

科學的な基礎調査によつて眞に生徒の生活個性をつかみ適切な指導の根據を得るのである。

本校の生活實態調査の概要を別紙に依り報告す。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

ペスタロッチー教育を基盤とする學校經營

多紀郡　城南中學校

一、題目選定の理由
　ペスタロッチー教育思想の近代的意義
二、ペスタロッチー教育と新教育
　1、人間性の尊重
　2、合理の重視
　3、社會性の養暢
　4、生活中心
三、經營方針
　1、個性伸長
　　科學的基礎 ― 個性調査　知能檢査
　　性格調査　身体調査
　2、社會性の伸長
　　自主的協同的生活 ― 校友會活動
　　自治協議會
　　各部の活動
　3、職業的精神の伸長
　　勤勞意欲の昂揚 ― 農園經營
　　作業計畫
　4、學習指導法の革新（生徒中心）
　　生徒の好學心の振起
　5、生活指導の重視
　　實態調査、環境調査、育友會の提携
四、教育の實際
　1、學習の面
　　A、學習には科學的根據と科學的方法と科學的內容を有すること。
　　B、學習は常に活動的であり能う限り勞作的にして創造的知性の活動であること（爲すことによつて學ぶ）
　　C、學習は常に社會的內容を持ち能う限り社會的協力的學習態であること。
　2、訓育の面
　　A、自主性の涵養（自治、自律）
　　B、責任感の養成（責務）
　　C、協同性の涵養（奉仕、友愛）
　3、自治會の運營